事　業　概　要

平成 28 年度版

東 京 都 立 図 書 館

平成 28 年 7 月

事業概要　平成２８年度版

目　　次

Ⅰ　組織概要
　１　東京都立図書館運営方針 …… 1
　２　東京都立図書館運営組織図 …… 3
　３　東京都立図書館事務分掌 …… 4
Ⅱ　主要事業
　１　平成 28 年度　主要事業 …… 5
　２　平成 27 年度　主要事業報告 …… 6
Ⅲ　予算・決算
　１　平成 28 年度　予算 …… 9
　２　平成 27 年度　決算 …… 10
Ⅳ　統計資料（平成 28 年 3 月 31 日現在）
　１　所蔵状況 …… 11
　２　オンラインデータベース・電子書籍の導入状況 …… 12
　３　図書館資料収集・整理統計 …… 13
　４　利用統計資料（平成 27 年度実績） …… 14
　　(1)　利用状況 …… 14
　　(2)　登録利用者数 …… 15
　　(3)　レファレンス件数 …… 15
　　(4)　書庫内図書利用冊数 …… 16
　　(5)　情報リテラシー支援件数 …… 16
　　(6)　政策立案支援サービス件数 …… 16
　　(7)　特別文庫室利用状況 …… 17
　　(8)　音声・映像資料室利用状況 …… 17
　　(9)　視覚障害者等サービス状況 …… 17
　　(10) 協力貸出状況 …… 17
　　(11) 多摩図書館　16 ミリフィルム等の貸出数 …… 18
　　(12) ホームページ利用状況 …… 18
Ⅴ　事業実績（平成 27 年度）
　１　展示等の事業（展示・講演会等・映画会） …… 19
　２　区市町村立図書館職員等への研修等 …… 23
　３　学校教育活動への支援事業 …… 24
　４　職員研修等 …… 26
　５　刊行物及びホームページでの情報提供 …… 27
Ⅵ　所蔵コレクションの紹介
　１　中央図書館 …… 28
　　(1)　特別文庫室資料　　(2)　東京資料　　(3)　海外資料
　２　多摩図書館 …… 30
　　(1)　山本有三文庫　　(2)　雑誌創刊号コレクション　　(3)　児童・青少年資料
Ⅶ　東京都立図書館協議会 …… 31
Ⅷ　資料
　１　東京都立図書館館則 …… 33
　２　東京都立図書館沿革 …… 35
　３　図書館関係団体・組織一覧 …… 38
　４　東京都立図書館ネットワーク概念図 …… 39
　５　東京都立図書館シンボルマーク …… 40
　６　ホームページ及びソーシャルメディア …… 40
　７　フロア概要 …… 41
　　(1)　中央図書館 …… 41
　　(2)　多摩図書館 …… 44
　８　案内図 …… 45

Ⅰ　組織概要

１　東京都立図書館運営方針

平成 14 年 4 月　1 日
一部改正　　平成 18 年 5 月 22 日
一部改正　　平成 21 年 3 月 25 日付 20 中図管企第 445 号

東京都立図書館（中央図書館及び多摩図書館をいう。以下「都立図書館」という。）は、情報通信技術が飛躍的に進展する２１世紀にふさわしい、広域的・総合的情報拠点として、首都東京の中核的公立図書館の役割を担い、図書館資料及び図書館内外の情報の整備・充実に努め、都民及び利用者に対し、等しく良質な図書館サービスを提供することにより、東京の社会、経済、産業、教育、文化等の発展に貢献する。

また、都立図書館は、区市町村立図書館との役割分担のもとに、都内公立図書館、学校及び同種施設等と連携協力し支援を図ることにより、東京の図書館サービス全体の向上に寄与する。

これらを目的として、都立図書館の運営及びサービスに関する事業の方針を定める。

【基本方針】

１　都立図書館は、中央図書館を統括機能の有する中心館とし、多摩図書館を合わせて一体的な運営を行うとともに、各館が機能及びサービスを分担する。

２　都立図書館は、図書館サービス指標を設け、効率性、効果性、迅速性等の経営的視点を重視した運営及び事業を展開する。

３　都立図書館は、来館者、非来館者を問わず、都民及び利用者が高度・高品質な情報サービスを享受できるようサービス提供環境を整備し、利用者の多様な学習活動や調査研究活動を支援する。

４　都立図書館は、資料の継続的、網羅的な収集を行うとともに、適切な資料管理を行い、将来にわたる利用のため図書館資料の長期的保存を図る。

５　都立図書館は、都内公立図書館や学校等への協力支援を行うとともに、都内公立図書館の相互協力ネットワーク化を促進する。

６　都立図書館は、図書館未整備地域に対し、補完サービスを行う。

【具体的方針】

（運営全般に関すること）

１　事業の実施に当たっては、本運営方針に則り、必要な要綱、基準等を定めるほか、各年度毎に主要事業計画を定める等計画的な運営を図る。

2　運営及びサービスの実施に当たっては、都民及び利用者のニーズ把握に努めるとともに、自己評価や経営指標等の手法を取り入れ、事業について不断の見直し、改善を図る。
3　事業執行に当たっては、必要に応じて、専門委員会、プロジェクトチームを設置し、迅速かつ柔軟な実施を図る。
4　都立図書館の職員に対し、専門性を高め、サービス向上を図るために必要な研修を行う。また、職員の資質と能力の向上を図るため他団体への派遣等の機会を設ける。
5　図書館サービスの普及と利用の啓発を図るために、情報通信技術等を活用し、都民、図書館及びその他関係諸機関に対し、積極的な広報、PR 活動を行う。

（情報サービスに関すること）
6　紙媒体資料とともに図書館内外の電子媒体情報等を整備し、広範で、多様な情報サービスを迅速かつ的確に提供する。
7　電子図書館の実現に取り組むとともに､情報通信技術の進展と都民の生活行動様式の変化に対応し、利便性の高い図書館サービスの展開を図る。
8　図書館利用支援サービスを充実させ、都民の情報リテラシー支援を図る。
9　視覚障害者、聴覚障害者、高齢者及び外国人等にも配慮した利用環境の整備を図る。
10　子どもをはじめとする読書活動推進のための事業を行うとともに、都内公立学校等と連携して、学校教育に対する協力事業や地域の教育力を高める図書館サービスの支援を図る。
11　都の政策立案や実施に対して積極的に支援する。
12　社会活動や経済、産業活動等の活性化を支援する情報サービスを行う。

（資料管理に関すること）
13　図書館資料は、原則として１資料１点を収集し、将来にわたる利用のため長期的保存を図る。
14　書庫は、計画的に管理し、収集、保存、除架、再活用を適切に行うとともに、新たな媒体変換等による情報の長期的保存についても検討する。
15　一般には入手困難な専門書や行政資料等の積極的な収集を図る。

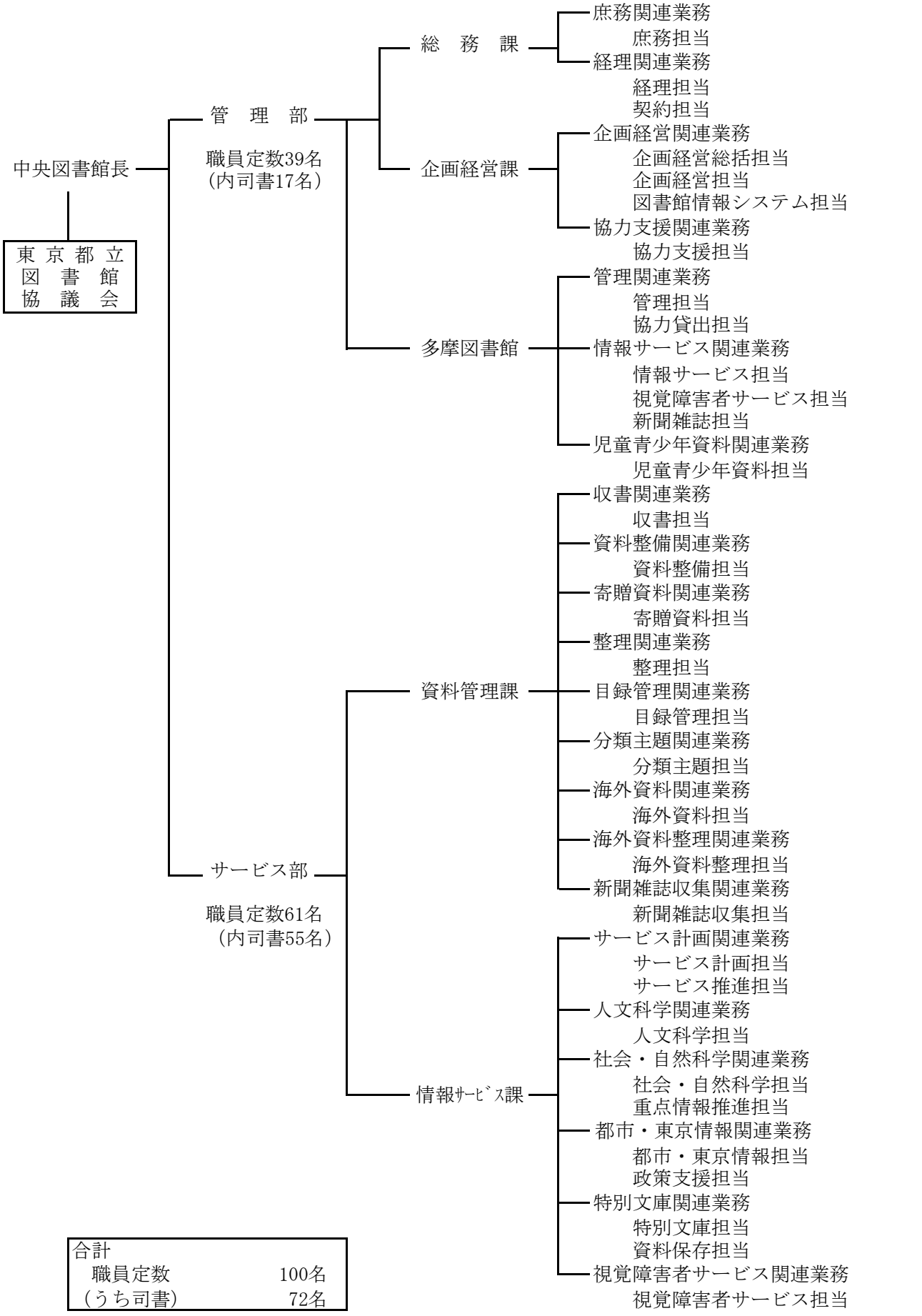
（協力支援に関すること）
16　都内公立図書館に対し、協力レファレンス、協力貸出、研修等多様な協力事業の展開を図るとともに、区市町村相互間の協力体制の整備を支援する。
17　東京都関係機関の図書館及び各種図書館等との連携、相互協力の構築を推進する。また、図書館関係団体等との連絡調整を行い、図書館サービスの発展向上を図る。
18　図書館未整備地域からの要望に応じ、資料や情報の提供を行う。

附　則
（施行期日）
1　この方針は、平成 14 年 4 月 1 日から施行する。
（東京都立中央図書館運営方針の廃止）
2　「東京都立中央図書館運営方針（47 日図発第 234 号)」は廃止する。
（東京都立多摩図書館運営方針の廃止）
3　「東京都立多摩図書館運営方針（61 教社計多第 111 号)」は廃止する。

附　則
この方針は、平成 21 年 4 月 1 日から施行する。

２　東京都立図書館運営組織図

（平成28年４月１日現在）



合計	
職員定数	100名
（うち司書）	72名

3　東京都立図書館事務分掌

担当部署		業務内容
管理部	総　務　課	中央図書館及び多摩図書館（以下都立図書館）の公文書に関する統括 中央図書館の文書の管理
		都立図書館所属職員の人事・給与（他の課等において処理するものを除く）
		都立図書館の予算・決算・会計（他の課等において処理するものを除く）
		多摩図書館の統括・連絡・調整
		中央図書館の施設及び設備の維持管理
		中央図書館の館内の取締り
	企画経営課	都立図書館の企画・経営計画の策定・運営の統括
		都立図書館の広報・統計・調査の統括、中央図書館の広報・統計及び調査
		東京都立図書館協議会に関すること
		都立図書館の情報通信技術活用の推進に関すること
		図書館情報システムの運営
		都内公立図書館・その他の図書館等、都内公立学校等に対する協力支援
		図書館に関する関係機関・関係団体等との連絡調整
		図書館未整備地域に対する補完サービスに関すること
		都立図書館の館報等の編集及び発行
		図書館職員等の研修
		海外の図書館等との交流に関すること
	多摩図書館	多摩図書館の庶務
		多摩図書館の文書の管理
		多摩図書館の広報・統計・調査
		多摩図書館のサービス計画に関すること
		多摩図書館の図書館資料の選定・収集・整理・保存
		多摩図書館の図書館資料の利用に関すること
		雑誌・児童資料・青少年資料等に係る都内公立図書館等への協力支援
		多摩図書館の図書館資料の情報サービスに関すること
		多摩図書館における視覚障害者に対する資料の朗読・録音等に関すること
		多摩図書館の図書館資料等の複写に関すること
		都内公立図書館等その他視聴覚関係機関に対する視聴覚資料に係る館外貸出し
		多摩図書館の利用案内に関すること
		多摩図書館の施設及び設備の維持管理
		多摩図書館の館内の取締り
サービス部	資料管理課	都立図書館の資料管理計画に関すること
		都立図書館の資料管理に関すること
		都立図書館の図書館資料の選定・収集（他の課等において処理するものを除く）
		都立図書館の図書館資料の整理基準に関すること
		都立図書館の図書館資料の整理・保存（他の課等において処理するものを除く）
		都立図書館の図書館資料の製本等、資料保全に関すること （他の課等において処理するものを除く）
	情報ｻｰﾋﾞｽ課	都立図書館の情報サービス計画に関すること
		中央図書館の図書館資料・機材の利用に関すること
		中央図書館の図書館資料に係る情報サービス及び 都内公立図書館等に対する情報サービスに関すること
		中央図書館の特別文庫室の資料の選定・収集・整理・保存
		中央図書館の都市・東京情報サービスに係る資料及び視聴覚資料の選定・収集・整理・保存
		東京都の政策立案支援に係る情報サービスに関すること
		中央図書館における視覚障害者に対する資料の朗読及び録音等に関すること
		中央図書館の図書資料（視聴覚資料を除く）等の複写に関すること
		中央図書館の利用案内に関すること

東京都立図書館処務規則より抜粋

Ⅱ　主要事業

1　平成 28 年度　主要事業

３か年重点目標の達成に向けて、平成 28 年度は以下の事業について特に重点的に取り組み、基幹事業と一体的な取組を進めることで都立図書館を取り巻く課題を解決し、利用者ニーズに即したサービス向上を図る。

(1) 新多摩図書館開館に向けた準備

平成 29 年１月の新多摩図書館開館に向け、中央図書館と多摩図書館の緊密な連携の下、着実に準備を進める。移転に伴う作業を円滑に行うとともに、東京マガジンバンク及び児童・青少年資料のサービス充実に向けて万全の準備を行い、新多摩図書館でサービスを開始する。

【具体的な取組】

新多摩図書館への資料の移送及び配置、中央図書館との一体的な運営による利便性の向上、システム更新準備　等

(2) 「都立図書館改善の方策」に基づく事業の実施

2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向けた都の施策や都民、事業者の活動を支援するとともに、外国人を含む多くの人に都立図書館を一層活用してもらうための改善策を実施する。

ア　オリンピック・パラリンピック関連情報の多面的展開
イ　次世代を育成する学校教育への支援
ウ　都政における施策推進への支援
エ　利用拡大に向けた戦略的広報
オ　誰もが快適に利用できる図書館環境の構築

【具体的な取組】

新たな情報サービスの展開、外国人利用者へのサービス充実、Web コンテンツの充実、学校支援サービスの拡充、政策立案支援サービスの拡充、ホームページリニューアル、無料 Wi-Fi 整備 等

(3) 都の施策及び都立図書館協議会提言に基づく事業の実施

「第三次東京都子供読書活動推進計画（平成 27 年２月）」の取組及び「第 26 期都立図書館協議会提言（平成 27 年３月）」の事業化に向けた取組を着実に実施する。

ア　第三次東京都子供読書活動推進計画に基づく事業の実施
イ　第 26 期協議会提言に基づく事業の検討及び実施

【具体的な取組】

都立学校向け選書支援、生徒と図書館をつなぐ取組の拡充、新多摩図書館を活用した読書活動支援　等

３か年の重点目標（平成 27 年度～平成 29 年度）

○　これからの都立図書館に期待される利用者ニーズを的確に捉えるとともに、都立図書館の運営及びサービスの現状（「東京都立図書館運営方針」）に改めて目を向け、より一層活用される図書館に向けた中長期的な館運営の方向を明らかにする。短期的に取り組むべき課題については迅速に対応する。
○　新多摩図書館の開館により、都立図書館（中央図書館・多摩図書館）総体として一層の機能向上を図る。
○　首都の中核的公立図書館として関連機関と連携し、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向けた多様な活動を支援する。

2　平成 27 年度　主要事業報告

(1)　新多摩図書館移転に向けた準備

ア 東京マガジンバンクサービスの拡充

直接閲覧できる雑誌を大幅に増やすことで雑誌に関する調査研究を行う環境の充実を図るため、新多摩図書館における雑誌の配架分類の作成及び付与並びに新多摩図書館での配置場所の検討を行った。

また、移転後は雑誌に関するセミナーや企画展示により雑誌の魅力を発信するため、セミナーのテーマや講師の検討及び「創刊号コレクション目録(仮称)」の作成を開始した。

イ 児童・青少年資料サービスの推進

移転後も引き続き東京都の子供読書活動推進の拠点として、第三次東京都子供読書活動推進計画に基づく事業及び学校支援事業の充実を図るため、新多摩図書館の閲覧室等に配置する図書の選定作業を行い、新しく開始するサービスについて検討した。

また、新たに設置する「こどものへやカウンター」、「グループ閲覧室」及び「開架書庫」の運用方法を定めた。

(2)　都の施策及び都立図書館協議会提言に基づく事業の実施

ア オリンピック・パラリンピック支援（国際化対応含む）事業の検討及び実施

(ｱ) 施設整備（バリアフリー対応、音声案内の設置）【総務課】

「誰もが使いやすい図書館」を目指して、中央図書館入口に視覚障害者用音声案内装置を設置した。また、利用者用入口外にある段差が気づきにくく危険なため、段差部分に表示を行い整備した。

(ｲ)「2020 年を契機とした都立図書館」についての検討【企画経営課】

第 27 期東京都立図書館協議会を設置し、「世界一の都市・東京を支える情報センターを目指して－2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とした都立図書館の取組－」をテーマに協議を開始した。定例会を３回、専門部会を２回開催し、「サービス」及び「広報」に関する検討を行った。

(ｳ) 海外情報コーナーの設置【資料管理課】

国際化対応の一環として、４月にアメリカンセンターJapan より提供された広報資料の展示・配布を行う「アメリカ情報コーナー」を中央図書館５階閲覧室に設置した。これに関連して、９月～10 月に留学をテーマとする展示、10 月に米国大使館の若手外交官による講演会を実施した。３月には駐日欧州連合代表部（ＥＵ）及びブリティッシュ・カウンシル提供の広報資料を加えて拡充し、「大使館等提供資料コーナー」に改称した。

(ｴ) 2020 年へ向けての応援企画（企画展示、ミニ展示）【情報サービス課】

オリンピック・パラリンピックへの理解を深めるとともに、日本各地の魅力を発信するため、企画展示「東京に集う聖火－1964年東京オリンピック聖火リレーをたどる－」を開催した。さらに、オリンピック・パラリンピック及び世界各国の文化をテーマとしたミニ展示を行った。また、展示図書リストや、世界の国及び日本についての調べ方案内等のホームページ発信を開始した。

(ｵ) 伝統教育支援【多摩図書館】

学校における日本の伝統教育を支援するため、小学生及び中・高校生向けにそれぞれテーマを設定し、関連図書を紹介するミニ展示を行った。

また、東京都水道歴史館と連携し、東京の水道の歴史等に関する展示を行った。

展示と展示図書に関する情報を東京都教育委員会が作成する「日本の伝統・文化に関する教育推進資料」に随時掲載した。

イ 第三次東京都子供読書活動推進計画に基づく事業の実施

(ｱ) 生徒と図書館をつなぐ取組【企画経営課】

高校生に本の魅力を伝えるとともに、自発的な読書活動や図書館の利用を促進するため、中央図書館に高校生（４校 11 名）を招待して、バックヤードの見学及びグループ活動を行った。グループ活動では、参加者が各自で選んだ本を展示し、自校の生徒と都立図書館をつなぐ取組案を発表した。グループ活動の成果を活用し、自校の文化祭で都立図書館について発表した学校もあった。

(ｲ) 都立学校向け選書支援【資料管理課】

青少年用図書の情報を都立学校へ定期的に配信し、選書を支援する取組を平成 28 年度から試行するため、より効果的な支援事業となるよう、配信する情報（青少年用図書の新着情報、書評に取り上げられた本の情報、都立図書館がおすすめする本の情報）の内容や配信方法について具体的な検討を行った。

(ｳ) 高校生対象図書館活用講座の実施　等【情報サービス課】

高校生の都立図書館利用を促進するため、調査方法を紹介した高校生向けリーフレットを新規に作成し、都立高校等の調べ学習受入れの際に活用した。

また、企画展示室において書評合戦応援展示を実施したほか、約１か月ごとにテーマを変更するミニ展示「高校生注目！～図書館で学べ～」を実施し、高校生向けに都立図書館が所蔵する資料をＰＲした。

(ｴ) 外国語を母語とする子供の読書活動支援（英語の多読コーナーの設置）【多摩図書館】

外国語で書かれた図書を活用し、外国語を母語とする子供の読書活動を支援するとともに、子供の外国語や外国への理解を深めるため、多摩図書館青少年エリアに「英語多読棚」を設置し、英語の多読に適した絵本と、多読に関する参考図書を配架した。配架した資料のリストは、都立図書館ホームページ「青少年のページ」に掲載し、広く情報提供した。

ウ 第 26 期協議会提言に基づく事業の検討及び実施

(ｱ) ホームページリニューアルに向けた検討（学校支援ページ）【企画経営課】

平成 29 年度に実施予定の都立図書館ホームページのリニューアルに向けて、現行ページの問題点の整理や、リニューアルの方向性について検討した。

学校支援ページについては、学校関係者が必要とする情報にアクセスしやすくなるよう、トップページへのバナーの新設やコンテンツの整理、更新を行った。

(ｲ) 電子書籍サービスの拡充【資料管理課】

日本の古典文学や政治・経済関係の日本語コンテンツ 127 タイトル及び日本文学の英訳など英語コンテンツ 48 タイトルを新たに導入して全 741 タイトルとし、コンテンツの充実を図った。

また、電子書籍サービスの利用促進のため、タブレット端末の使い方や電子書籍の利用に関するショートセミナー（講習会）を実施した。

(ｳ) 高校生対象図書館活用講座の実施　等　〈再掲〉【情報サービス課】

(ｴ) 新多摩図書館を活用した読書活動支援の検討【多摩図書館】

都民に対する読書活動支援の一層の充実を図るため、新多摩図書館閲覧室等に配置する図書の選定を行った。特に、小学生以下の子供が利用するエリア、中高生世代が利用するエリアは、読書への興味が一層広がるよう、フィクションとノンフィクションのバランスを考慮して選定した。

また、子供の読書に関わる方々への支援を行うエリアは、子供向けの本の選書支援等ができるよう資料の配置を工夫した。

(3)　サービス改善に向けた取組と利用実態の把握

ア より多くの利用者に活用されるための取組

(ｱ) 館内の環境整備（１階カフェの設置及び５階食堂リニューアル、無線 LAN の整備）【総務課】

充実した図書館機能に加えて、快適な空間とくつろげる環境を整備するため、中央図書館の食堂事業者を公募して５階食堂をリニューアルするとともに、１階エントランスにカフェ

コーナーを新設した。さらに、無線LANの事業者を１社追加し、無線LAN環境の充実を図った。

(ｲ) 施設整備（バリアフリー対応、音声案内の設置）〈再掲〉【総務課】

(ｳ) レファレンスサービスの充実および利用促進に向けたＰＲ【情報サービス課】

レファレンスサービスの利用促進に向け、効果的にＰＲするチラシを新規に作成し、館内に配置した。

また、中央図書館を初めて利用する方のために利用案内パネルを設置したほか、蔵書検索用パソコンに資料の探し方を記載した案内板を設置し、館全体としてレファレンスサービスの充実を図った。

(ｴ) 入退館時の利便性の向上【情報サービス課】

誰が見てもわかりやすい館内サインを目指して、案内等掲示のピクトグラム化、英語併記化を推進し、利用者入口受付をはじめ、ロッカー室、複写サービスコーナー、各階閲覧室、書架棚見出し等、来館者が利用するエリア全体のサインを更新した。

また、１階カフェコーナーのオープンにあわせて、喫煙所及びカフェコーナーの利用者については、入館証を携帯したままで利用できるようルールを見直した。

(ｵ) 江戸・東京関係資料の活用及びＰＲ、都市・東京情報サービスの強化【情報サービス課】

都立図書館が所蔵する江戸・東京関係資料をＰＲするため、都市・東京情報コーナー、特別文庫室及び関連ウェブページを総合的に紹介するリーフレット「おもしろい江戸あたらしい東京」を新規に作成した。

また、特別文庫室の利用を促進するため、「特別文庫ギャラリー」としてパネル展示を実施した（年４回）。都市・東京情報コーナーでは、都政の動向や都民の関心を捉えたテーマを月ごとに設定してミニ展示を実施した。その際、同時期に開催中の企画展示に連動させたテーマ設定や、関連する動画の上映、スタンプラリーなどを行い、展示を通じてコーナーへの誘導を図った。

(ｶ) ホームページリニューアルに向けた検討 〈再掲〉【企画経営課】

イ 来館者の利用実態の把握及び分析

(ｱ) サービス改善に資する自己評価及び利用実態・満足度調査の実施【企画経営課】

都立図書館を取り巻く新たな課題に対応した自己評価の実施に向け、外部有識者の助言により評価指標の検討を行った。

また、利用実態・満足度調査は、調査項目や分析事項の精査をした上で実施した。

(ｲ) 都市・東京情報コーナーの蔵書評価の実施【資料管理課】

都市・東京情報資料の収集と提供方法の充実を目的として、青山侑（やすし）氏（元東京都副知事）による調査分析及び評価を実施した。評価報告を受け、都市比較に関する資料、東京や海外都市に関する大型本、外国語資料の収集に努めた。特に外国語資料については、ロンドン、ニューヨークなど自治体が発行した資料の入手に向けて、関係機関に対し働きかけた。

(ｳ) レファレンスサービス利用実態の把握【情報サービス課】

レファレンスの事例を全件記録する「統一事例日」を年４回実施するとともに、利用者への聞き取り調査を３日間実施し、利用実態の把握及び共有化を図った。

また、利用者が来館するまでのプロセスやレファレンスサービスを利用した感想等を把握することにより、利用者向けパスファインダーの改訂など、レファレンスサービスのレベルアップを図るとともに、利用促進のためのＰＲ方法を改善した。

ウ 非来館者向け意向調査及び分析

(ｱ) 潜在的利用者層向け調査の実施【企画経営課】

新規利用者の増加を図るため、潜在利用者が多数集まるイベントや施設に都立図書館ブースを出展して潜在利用意向調査を行った。「東京国際ブックフェア」「みなと区民まつり」「都立図書館企画展示（都庁南展望室）」において、都立図書館所蔵資料やパネルを展示して都立図書館の事業を紹介するとともにアンケート調査を行い、回収した約3,600件のサンプルを基に分析を行った。

Ⅲ　予算・決算

1　平成28年度　予算

（千円）

項　目	予　算　額			内　　容
	28年度	27年度	増△減	
管理運営等	837,284 (12,528)	360,221 (12,515)	477,063 (13)	中央･多摩図書館の管理運営 中央・多摩図書館の建物維持管理に要する経費
サービス事業	497,796 (78,681)	484,616 (75,011)	13,180 (3,670)	館内サービス、相互協力事業、視覚障害者サービス､広報､貴重資料の電子化、都市・東京情報の発信拠点化事業のサービス充実等に要する経費
資料収集・整理	460,948 (43,285)	462,639 (43,778)	△ 1,691 (△493)	図書館資料(オンラインデータベース、電子書籍を含む。)の収集、整理、修理保全及び蔵書目録作成等に要する経費 〔28年度購入計画〕 1　図　書 ・一般成人用図書　27,900 冊 (東京・重点的情報サービス・行政・郷土関係資料を含む。) ・既刊書　1,116 冊 (明治以降昭和40年代までの欠本) ・洋書　3,830 冊 ・未成年者向図書(児童書)　3,500 冊 同上　(青少年)　2,450 冊 ・中国語、韓国･朝鮮語図書　2,280 冊 ・備品図書　20 冊 合計　41,096 冊 2　逐次刊行物 ・新聞　170 種 ・雑誌　4,263 種 ・年鑑･年報　1,900 種 3　オンライン図書(データベース)　35 種 4　電子書籍　300 種
タイムリーな企画展	18,628	16,737	1,891	・大規模企画展　年１回 ・図書館内展示会　年５回 ・講演会等　年２回 ・常設企画展
電算システムの運営	310,467	120,190	190,277	都立図書館２館における電算システムの運営管理及び図書館情報ネットワークの推進に要する経費
図書館協議会	1,789 (1,317)	1,521 (1,131)	268 (186)	委員数　12名 定例会　年４回
計	2,126,912 (135,811)	1,445,924 (132,435)	680,988 (3,376)	

(注)　・予算額中の（　）は、給与関係費で内数

2　平成27年度　決算

（円）

項　　目	決　　算　　規　　模	予算額	決算額
Ⅰ　管理運営等		360,221,000 （　12,515,000　）	284,804,339 （　4,292,154　）
1　庁舎管理 (1) 中央図書館 2　その他の運営 (1) 中央図書館 (2) 多摩図書館	（建物規模） 地上5階地下2階　　延　23,196.21㎡		
Ⅱ　サービス事業		484,616,000 （　75,011,000　）	450,692,880 （　71,574,500　）
1　中央図書館 (1) 館内サービス (2) 視聴覚資料収集 (3) 相互協力事業 (4) 視覚障害者等ｻｰﾋﾞｽ (5) 広　　報 2　多摩図書館 (1) 館内サービス (2) 視聴覚資料収集 (3) 相互協力事業 (4) 視覚障害者等ｻｰﾋﾞｽ (5) 広　　報	開館日数　327日　　入館者数　278,867人 開館日数　330日　　入館者数　75,512人		
Ⅲ　資料収集・整理		462,639,000 （　43,778,000　）	453,386,220 （　40,706,761　）
1　図書館資料の収集 中央･多摩図書館 2　図書資料の整理 3　修理保全 4　蔵書目録	1　図　書 (1) 新刊和書 25,182冊 (2) 既刊書993冊 (3) 洋書 4,101冊 (4) 中国語、韓国･朝鮮語図書 2,248冊 (5) 電子資料 13枚 (6) 児童書(和書) 3,512冊 (7) 青少年図書(和書) 2,251冊 2　逐次刊行物 (1) 新聞 173種 (2) 雑誌 4,295種 (3) 年鑑･年報(和書)1,504冊 (4) 年鑑･年報(洋書)274冊 3　オンライン図書（データベース） 33種 4　電子書籍　175種		
Ⅴ　タイムリーな企画展		16,737,000	15,074,468
Ⅳ　電算システムの運営		120,190,000	115,387,581
Ⅵ　図書館協議会		1,521,000 （　1,131,000　）	1,027,978 （　778,500　）
計		1,445,924,000 （　132,435,000　）	1,320,373,466 （　117,351,915　）

（注）・予算額・決算額中の（　　）は、給与関係費で内数
・予算額は当初予算額。決算額は図書館での執行分のみ。
・多摩図書館は複合施設のため、施設管理費は含まれていない。

Ⅳ　統計資料（平成28年３月31日現在）

１　所蔵状況

(1)　図書(年鑑・年報含む)

（冊）

区　　分			中央図書館	多摩図書館	合　　計
日本語資料	一　般　書		1,267,469	257,495	1,524,964
		総　記	54,479	8,657	63,136
		哲　学	70,194	8,255	78,449
		歴　史	183,072	15,159	198,231
		社会科学	346,264	32,599	378,863
		自然科学	120,842	12,077	132,919
		工　学	137,219	15,059	152,278
		産　業	95,430	6,457	101,887
		芸　術	120,442	20,019	140,461
		語　学	26,102	4,744	30,846
		文　学	113,425	134,469	247,894
	東京資料		225,226	4,842	230,068
	児童資料		0	165,322	165,322
	青少年図書		0	29,657	29,657
海外資料	洋書(特別文庫除く)		154,922	33,184	188,106
		一　般　書	153,437	13,901	167,338
		東京資料	1,485	17	1,502
		児童資料	0	19,265	19,265
		青少年図書	0	1	1
	中国語図書		66,283	4,325	70,608
		一　般　書	66,029	155	66,184
		東京資料	254	0	254
		児童資料	0	4,170	4,170
		青少年図書	0	0	0
	韓国・朝鮮語図書		20,594	2,006	22,600
		一　般　書	20,356	49	20,405
		東京資料	238	0	238
		児童資料	0	1,957	1,957
		青少年図書	0	0	0
特別文庫			243,404	0	243,404
山本有三文庫			0	13,559	13,559
計			1,977,898	510,390	2,488,288

（注１）中央図書館の歴史資料には地図を含む（旧「地図」欄と統合し、「地図」欄を廃止）。
　　多摩図書館が所蔵していた地図は平成27年度から中央図書館が所蔵。
（注２）特別文庫所蔵資料は、原資料のみの所蔵数。

(2) 新聞雑誌所蔵状況

（タイトル）

区分			中央図書館				多摩図書館				合計
			新聞雑誌	東京資料	特別文庫（注１）	小計	新聞雑誌	児童青少年資料	東京資料	小計	
新聞	日本語	継続	191	228	0	419	46	9	32	87	506
		終刊・中断	230	375	45	650	81	19	0	100	750
		小計	421	603	45	1,069	127	28	32	187	1,256
	外国語	継続	28	8	0	36	2	0	0	2	38
		終刊・中断	46	13	0	59	2	1	0	3	62
		小計	74	21	0	95	4	1	0	5	100
	計		495	624	45	1,164	131	29	32	192	1,356
雑誌	日本語	継続	1,699	486	0	2,185	5,428	173	21	5,622	7,807
		終刊・中断	2,209	1,556	255	4,020	10,504	692	0	11,196	15,216
		小計	3,908	2,042	255	6,205	15,932	865	21	16,818	23,023
	外国語	継続	117	4	0	121	421	18	0	439	560
		終刊・中断	128	10	329	467	1,020	64	0	1,084	1,551
		小計	245	14	329	588	1,441	82	0	1,523	2,111
	計		4,153	2,056	584	6,793	17,373	947	21	18,341	25,134
マイクロフィルム（注２）			16 (15,444)	12 (15,444)	—	28 (16,990)	16 (10,519)	3 (13)	4 (152)	23 (10,684)	—

（注１）冊数。p.11の「特別文庫所蔵数243,404冊」の内数。
（注２）下段（　）は、リール数。この他、マイクロフィッシュ（児童和雑誌）１タイトル49枚を所蔵している。

(3) 音声・映像資料

区分	映画フィルム		ビデオテープ（巻）	LD・DVD（枚）	スライドフィルム（組）	レコード・CD（　）はCDで内数（枚）	録音テープ（巻）	航空写真ネガフィルム（本）
	16㎜（巻）	８㎜（巻）						
中央図書館	1,914	135	6,298	2,042	264	5,680(1,632)	1,138	113
多摩図書館	9,459	—	—	—	—	—	—	—

(4) 視覚障害者等用資料

区分	録音資料		点字資料	点字雑誌・新聞	録音雑誌・新聞	
	録音テープ	デイジー			録音テープ	デイジー
中央図書館	3,594点 26,693巻	2,322点 2,345枚	654点 3,280冊	7種 3,720冊	8種　453点	12種 435枚
多摩図書館	3,175点 17,106巻	1,161点 1,161点	402点 1,663冊	11種　488冊	19種 4,418点	7種 361枚

(5) 特別文庫資料の自館製作複製資料（電子化に伴う複製物含む）

特別文庫室では、所蔵貴重資料（原資料）の保存と、調査研究のための利用とを両立するため、資料のメディア変換（電子化）に取り組んでいる。原資料１点から、複数媒体の複製資料が作られるため、図書の所蔵統計とは別枠で累積数値を記載する。

区分	紙焼き	マイクロフィルム	複製写真	スチールフィルム	DVD-R（CD-R含む）
中央図書館	58,451点	9,244巻	6,444枚	28,902枚	2,097枚

2 オンラインデータベース・電子書籍の導入状況

新聞・雑誌記事、事典類、ビジネス情報、法律情報及び健康・医療情報について、無料で利用できるオンラインデータベース等を中央・多摩の両館で設置している。

また、経済・財政史、歴史、古典文学、資格関係等の日本語コンテンツ、オリンピック関係、日本文学作品等の英語コンテンツを導入し、専用の電子書籍端末により、中央図書館内で提供している。

区分	オンラインデータベース設置数
無料	33種類
有料	１種類

区分	電子書籍タイトル数
日本語コンテンツ	693
英語コンテンツ	48
計	741

3 図書館資料収集・整理統計

都立図書館所蔵資料の収集、整理及び館内製本は、中央図書館及び多摩図書館の資料を一括して中央図書館で行っている。

(1) 図書資料受入状況

ア 新収資料

（冊）

区　　分	情報サービス資料 （中央・多摩図書館）
購　　入	40,078 (6,623)
受　　贈	9,649 (497)
そ の 他 （自館製作目録、加除式資料等）	18 (0)
計	49,745 (7,120)

（注）年鑑年報を含む。　（　）内は外国語資料で内数。

イ 複製資料

特別文庫室では、所蔵貴重資料（原資料）の保存と、調査研究のための利用とを両立するため、資料のメディア変換（電子化）に取り組んでいる。原資料１点から、複数媒体の複製資料が作られるため、図書の受入統計とは別枠で受入数値を記載する。

（点）

特別文庫資料の 自館製作複製	8,354

(2) 逐次刊行物受入状況

区　分	年鑑年報	新　　聞		雑　　誌	
		中　央	多　摩	中　央	多　摩
購　入	1,778　冊 (274)	137　種 (23)	36　種 (1)	1,036　種 (102)	3,259　種 (364)
受　贈	3,701 (31)	267 (11)	48 (1)	1,391 (23)	3,166 (86)
計	5,479 (305)	404 (34)	84 (2)	2,427 (125)	6,425 (450)

（注）（　）内は外国語資料で内数。

(3) 整理状況

資料種別	和図書	海外資料	年鑑年報	計
整理冊数	37,625	7,238	5,577	50,440

(4) 製本状況

館内製本	館外製本	重要文化財 修　　復	計
2,544	1,751	0	4,295

4 利用統計資料(平成27年度実績)

(1) 利用状況

ア 入館者数

区 分	中央図書館			多摩図書館			計
	開館日数	月別入館者数	1日平均	開館日数	月別入館者数	1日平均	
平成27年 4月	28	21,158	756	28	6,083	217	27,241
5月	29	26,376	910	29	6,778	234	33,154
6月	19	16,098	847	28	6,574	235	22,672
7月	29	24,999	862	30	7,865	262	32,864
8月	29	26,075	899	29	7,516	259	33,591
9月	28	22,407	800	28	5,968	213	28,375
10月	29	25,281	872	29	6,584	227	31,865
11月	28	23,862	852	19	4,331	228	28,193
12月	26	21,128	813	26	5,467	210	26,595
平成28年 1月	26	21,922	843	27	6,078	225	28,000
2月	27	25,248	935	27	6,184	229	31,432
3月	29	24,313	838	30	6,084	203	30,397
計	327	278,867	853	330	75,512	229	354,379

イ 複写枚数

区 分	中央図書館			多摩図書館			計
	開館日数	月別複写枚数	1日平均	開館日数	月別複写枚数	1日平均	
平成27年 4月	28	106,084	3,789	28	10,175	363	116,259
5月	29	121,210	4,180	29	11,934	412	133,144
6月	19	89,236	4,697	28	12,949	462	102,185
7月	29	127,570	4,399	30	13,379	446	140,949
8月	29	126,049	4,347	29	12,496	431	138,545
9月	28	120,433	4,301	28	9,568	342	130,001
10月	29	124,798	4,303	29	14,176	489	138,974
11月	28	120,072	4,288	19	9,857	519	129,929
12月	26	129,712	4,989	26	14,893	573	144,605
平成28年 1月	26	112,084	4,311	27	10,511	389	122,595
2月	27	122,607	4,541	27	12,014	445	134,621
3月	29	110,161	3,799	30	13,760	459	123,921
計	327	1,410,016	4,312	330	145,712	442	1,555,728

ウ 蔵書検索数

蔵書検索は、都立図書館の所蔵資料のみを検索し、統合検索は、都内公立図書館や国会図書館等の所蔵資料も検索できる。

区 分	蔵書検索数	統合検索利用件数
平成27年 4月	387,377	242,051
5月	421,796	242,052
6月	395,557	241,732
7月	437,727	240,089
8月	435,081	233,868
9月	429,577	230,236

区 分	蔵書検索数	統合検索利用件数
平成27年 10月	465,675	252,742
11月	459,797	232,510
12月	459,186	224,779
平成28年 1月	479,385	222,940
2月	477,607	222,004
3月	474,625	238,148
計	5,323,390	2,823,151

(2) 登録利用者数

利用者登録により、ネット予約（資料の取置き）、Ｅメールレファレンス及び新着情報配信サービス等を利用することができる。

区　分	各月末現在の登録利用者数
平成27年　４月	2,676
５月	2,854
６月	3,004
７月	3,208
８月	3,382
９月	3,521

区　分	各月末現在の登録利用者数
平成27年　10月	3,662
11月	3,795
12月	3,935
平成28年　１月	4,132
２月	4,299
３月	4,415

(3) レファレンス件数

レファレンスサービスは、利用者からの相談や質問に、図書館の資料や情報源を用いて回答することである。都立図書館では、カウンターや電話などで様々な質問に答えるとともに、広く参考としてもらえる事例を当館ホームページや国立国会図書館が実施するレファレンス協同データベースで紹介している。

【掲載質問例】回答は当館ホームページに掲載。

・「ハラール」に対応した商品（食品、化粧品等）を製造している国内の企業を知りたい。
・女性の化粧について、1975（昭和50）年頃から現在までの変遷を調べたいので、化粧に関する記事が多く掲載されている女性誌を紹介して欲しい。
・江戸時代の花見の名所（上野、墨田堤、飛鳥山、金龍山）の成立について知りたい。
・太平洋戦争中、東京都内で空襲で焼けなかった地域が分かる地図があるか。

ア　質問形態内訳

［都立図書館計］

区　分	中央図書館		多摩図書館		計
	総　数	１日平均	総　数	１日平均	
口　頭	34,359	105	6,341	19	40,700
電　話	20,591	63	2,846	9	23,437
ファクシミリ	53	0	2	0	55
文　書	1,156	4	95	0	1,251
Ｅ　メ　ー　ル	1,731	5	178	1	1,909
計	57,890	177	9,462	29	67,352

（注）１日平均の計は、総数の計を年間開館日数で除した値であるため、各項目の１日平均の合計とは一致しない。

［中央図書館］

区　分	情報サービス課４係	音声・映像資料室	特別文庫室	視覚障害者サービス係	計	開館日数	１日平均
口　頭	32,550	43	1,453	313	34,359	327	105
電　話	15,102	0	1,669	3,820	20,591	327	63
ファクシミリ	22	0	15	16	53	327	0
文　書	808	0	125	223	1,156	327	4
Ｅ　メ　ー　ル	1,527	0	88	116	1,731	327	5
計	50,009	43	3,350	4,488	57,890	327	177

（注１）１日平均の計は、総数の計を年間開館日数で除した値であるため、各項目の１日平均の合計とは一致しない。
（注２）中央図書館では、上記の他に案内スタッフによる簡易な応対が15,841件ある。

［多摩図書館］

区　分	情報サービス係	児童青少年資料係	視覚障害者サービス担当	計	開館日数	１日平均
口　頭	5,678	602	61	6,341	330	19
電　話	2,397	245	204	2,846	330	9
ファクシミリ	0	2	―	2	330	0
文　書	95	0	―	95	330	0
Ｅ　メ　ー　ル	41	52	85	178	330	1
計	8,211	901	350	9,462	330	19

（注）１日平均の計は、総数の計を年間開館日数で除した値であるため、各項目の１日平均の合計とは一致しない。

イ　協力レファレンス件数

都内の区市町村立図書館等が利用者から受けた質問に対し自館の資料等では十分な回答が得られない場合に、都立図書館が区市町村立図書館等の求めに応じて調査及び回答を行っている。

区　分		ファクシミリ	Eメール	計
都内公立図書館	区立図書館	7	86	93
	多摩地区市町村立図書館	1	98	99
	島しょ図書館	0	0	0
	小計	8	184	192
その他		30	0	30
計		38	184	222

(注)「その他」は、他道府県図書館及び大学図書館

ウ　聴覚・言語障害者レファレンス件数

区　分	中央図書館
ファクシミリ・Eメール	132

(4) 書庫内図書利用冊数

中央図書館	
年間	258,980
1日平均	792

多摩図書館					
	図書		雑誌		計
		うち、児童図書		うち、児童雑誌	
年間	15,321	3,445	131,238	14,269	146,559
1日平均	46	10	398	43	444

(5) 情報リテラシー支援件数

パソコンによる資料の検索やオンラインデータベースの利用の際に、システム機器の操作方法に関する支援を行っている。

中央図書館				
情報サービス課4係	音声・映像資料室	特別文庫室	視覚障害者サービス室	計
2,436	0	441	31	2,908

(注) 中央図書館では、上記の他に案内スタッフによる情報リテラシー支援件数が　14,285件ある。

多摩図書館
481

(6) 政策立案支援サービス件数

東京都職員が政策立案を行う際、求めに応じて必要な資料・情報の提供を行っている。

	中央図書館	多摩図書館	計
レファレンス件数	1,763	128	1,891
都庁内貸出冊数	754	27	781
複写枚数	5,538	625	6,163

(7) 特別文庫室利用状況

中央図書館特別文庫室では、江戸時代後期から明治時代中期の資料を中心に所蔵し提供している。資料の提供方法は、資料の閲覧、複写（即日複写のほか、利用者による撮影や所蔵しているネガの貸出を含む。）及び資料貸出である。

ア　資料提供

開室日数	閲覧者数（名）		閲覧数（冊）		複写関係						資料貸出		合計資料冊数	
					撮影		即日複写		ネガ貸					
	人数	1日平均	冊数	1日平均	件数	冊数	件数	冊数	件数	冊数	件数	冊数	冊数	1日平均
327	1,030	3	8,380	26	96	275	253	1,268	911	2,198	10	56	12,177	37

イ 復刻・翻刻

件数	冊数
16	286

(8) 音声・映像資料室利用状況

中央図書館音声・映像資料室では、歴史・伝統技術や東京に関する記録資料を中心とした、ビデオ、レーザーディスク、CD及びDVD等を所蔵しており、室内で視聴できる。

開室日数	利用者数	利用点数
327	2,042	3,560

(9) 視覚障害者等サービス状況

登録制で、資料の対面音訳並びに、テープ・デイジー資料及び点訳資料の作成及び貸出を行っている。

区分	登録者		対面音訳			テープ・デイジー資料					点訳			
							テープ資料		デイジー資料				貸出数	
	利用者	音訳者	利用人数	音訳者数	音訳時間	受付数	作成数（巻）	貸出数（巻）	作成数（枚）	貸出数（枚）	受付数	作成数（冊）	点字（冊）	ＦＤ（枚）
中央図書館	272	90	358	621	1,592	25	0	573 (1,218)	25 (29)	4,604 (4,624)	2	1 (5)	93 (165)	73 (73)
多摩図書館	109	19	143	231	698	11	0	21 (119)	80 (80)	1,604 (1,604)	2	1 (5)	2 (15)	2 (2)

(注1)　デイジーとは、Digital Accesible Information System（デジタル録音図書）の略。
(注2)　貸出数の中には、借受け貸出し分も含む。
(注3)　作成数の中には雑誌・新聞（テープ、デイジー及び点訳）は含まない。
(注4)　上段はタイトル数、下段は資料の巻（冊）数を表す。

(10) 協力貸出状況

ア　都内公立図書館への貸出

区市町村立図書館が所蔵していない資料に対し利用者から要望があった場合、東京都全体で資料の有効活用を図り都民の資料要求に応えるため、都立図書館の資料を区市町村立図書館に貸出している。

区分	図書貸出冊数	雑誌貸出冊数	合計
区立図書館	10,992	2,277	13,269
多摩地区市町村立図書館	62,671	5,670	68,341
島しょ図書館	1,202	23	1,225
計	74,865	7,970	82,835

イ　都外公立図書館との相互貸借

所蔵していない資料に対し利用者から要望があった場合、都外公立図書館との間で相互に資料の貸借を行っている。

区分	都外貸出		都外借受	
	件数	冊数	件数	冊数
中央図書館	79	96	21	28
多摩図書館	24	36	4	5
計	103	132	25	33

(11) 多摩図書館　16ミリフィルム等の貸出数

多摩図書館では、16ミリ映画フィルム及び映写機を、登録している団体及び島しょ地域に貸出している。

区分			登録数	貸出		備考
				件数	点数	
16ミリ映画フィルム	団体		100	388	1,144　本	
	特別団体		16			
	うち、島しょ長期貸出	大島	―	12	120　本	
		三宅		0	0　本	
		八丈		0	0　本	
		小笠原		12	66　本	
		計	―	24	186　本	
映写機貸出			―	86	131　台	

(12) ホームページ利用状況

(件)

区分	トップページアクセス数
平成27年　4月	88,988
5月	91,459
6月	90,405
7月	92,982
8月	88,996
9月	81,029
10月	86,176
11月	78,844
12月	76,064
平成28年　1月	81,926
2月	82,852
3月	78,349
計	1,018,070

Ⅴ　事業実績（平成27年度）

1　展示等の事業（展示・講演会等・映画会）

都立図書館の豊富な所蔵資料の魅力をPRするとともに資料の利用を促進するため、企画展示、講演会及び映画会等を実施した。

(1) 展示

展示内容等		期間	会場	来場者数
◆東京文化財ウィーク2015 「江戸城から明治宮殿へ－首都東京の幕開け－」		10月31日～11月15日	中央図書館 企画展示室・多目的ホール	6,010名
第22回東京国際ブックフェア		７月１日～７月４日	東京国際展示場	
2015みなと区民まつり		10月10日～10月11日	増上寺	
都立図書館企画展示「図書館が魅せます！TOKYO名所探訪」		11月19日～11月21日	都庁南展望室	
中央図書館企画展示	「東京に集う聖火－1964年東京オリンピック聖火リレーをたどる－」	７月５日～８月31日	中央図書館 企画展示室	5,596名
	「大海を渡れ！－留学いま・むかし－」	９月10日～10月25日		5,537名
	「アナタは何からできている？－健康なからだへのみちしるべ－」	11月28日～１月20日		4,997名
	「東京の鉄道史－鉄道が築いた都市、東京－」	１月30日～３月21日		14,150名
2020年へ向けての応援シリーズミニ展示	「アルゼンチン」	４月３日～５月６日	中央図書館 人文科学系資料・閲覧室 （入口）	
	「カザンからリオ五輪へ」	６月12日～８月５日		
	「リオ五輪に向けて！世界陸上北京」	８月７日～９月30日		
	「ボスニア・ヘルツェゴビナ」	10月２日～12月２日		
	「ブルキナファソ」	12月４日～２月３日		
	「ドイツ」	２月５日～４月６日		
学校支援ミニ展示	「高校生注目！～図書館で学べ～(1) 高校生の皆さん、読書と書評合戦を応援します！」	11月２日～11月19日	中央図書館 エレベーターホール	
	「高校生注目！～図書館で学べ～(2) 宇宙に挑む」	11月21日～１月６日		
	「高校生注目！～図書館で学べ～(3)『ドミトリーともきんす』へようこそ！」	１月８日～２月３日		
	「高校生注目！～図書館で学べ～(4) 遥かなるトルコ～日本・トルコ友好125年の時をこえて」	２月５日～３月２日		
	「高校生注目！～図書館で学べ～(5) 卒業する君たちへ」	３月４日～４月６日		
社会・自然科学系トピック展示	「國酒ってなに？－世界に誇る日本のお酒－」	４月９日～７月２日	中央図書館 社会・自然科学系資料・ 閲覧室	
	「ル・コルビュジエの建築」	８月７日～９月30日		
	「祝！ノーベル医学・生理学賞、物理学賞受賞！」	10月９日～11月10日		
	「コミュニティ戦略の“いま”をつかめ！」	11月25日～１月14日		
	「エコノミストが選ぶ　2015年経済書ベスト10」	１月19日～２月29日		
都市・東京情報コーナーミニ展示	「築地市場移転と東京の市場」	４月３日～５月６日	中央図書館 都市・東京情報コーナー	
	「東京の認知症支援」	５月８日～６月１日		
	「東京の映画と映画館」	６月12日～７月１日		
	「ストップ！薬物乱用」	７月３日～８月５日		
	「東京の温泉」	８月７日～９月２日		
	「東京の島　三宅島」	９月４日～９月30日		
	「東京の人口問題」	10月２日～11月４日		
	「ロンドン市、友好都市になる」	11月６日～12月２日		
	「東京の工芸と職人」	12月４日～１月６日		
	「東京防災　今やろう。～図書館でできること～」	１月８日～２月３日		
	「都バスをもっと身近に」	２月５日～４月６日		
ビジネス情報ミニ展示	「新社会人のためのお役立ちビジネスツール」	３月６日～５月６日	中央図書館 ビジネス情報コーナー	
	「地域を元気に！地域ブランド戦略」	５月８日～７月１日		
	「就職活動」	７月３日～９月２日		
	「東南アジアと食品ビジネス＋ハラールを知る」	９月４日～11月４日		
	「リーダーの本棚(1)－中村道治／高原豪久」	11月６日～12月２日		
	「リーダーの本棚(2)－尾崎裕／松本晃」	12月４日～１月６日		
	「リーダーの本棚(3)－桜田謙悟／中鉢良治」	１月８日～２月３日		
	「リーダーの本棚(4)－朝妻一郎／新宅祐太郎」	２月５日～３月２日		
	「リーダーの本棚(5)－小林哲也／稲野和利」	３月４日～４月６日		

展示内容等		期間	会場	来場者数
法律情報ミニ展示	「インターネットと法律」	3月6日～5月6日	中央図書館 法律情報コーナー	
	「行政書士－人と法律を結ぶ仕事－」	5月8日～7月1日		
	「子供と法」	7月3日～9月2日		
	「『相続』の知識と知恵」	9月4日～11月4日		
	「働く人のための法律」	11月6日～1月6日		
	「お家110番－欠陥住宅から身を守る－」	1月8日～3月2日		
	「家族と法」	3月4日～5月11日		
健康・医療情報ミニ展示	「災害医療とDMAT」	3月6日～5月6日	中央図書館 健康・医療情報コーナー	
	「心と健康」	5月8日～7月1日		
	「夏休みの子供の健康」	7月3日～9月2日		
	「今日からはじめる食生活改善」	9月4日～11月4日		
	「“食べる”を科学する－食品化学から考える栄養と健康－」	11月6日～1月6日		
	「ストレスチェック－あなたの職場は大丈夫？－」	1月8日～3月2日		
	「腸と健康」	3月4日～5月11日		
人文科学系トピック展示	「芥川賞・直木賞を読む」	7月16日～8月15日	中央図書館 人文科学系資料・閲覧室 （入口）	
	「2015年ノーベル文学賞スベトラーナ・アレクシエービッチを読む」	10月9日～11月10日		
	「マダガスカル・フェスティバル関連図書」	10月19日～11月1日	中央図書館エレベーターホール	
	「アール・ブリュット関連資料」	11月26日～12月10日	中央図書館多目的ホール	
	「追悼　野坂昭如さん」	12月4日～1月31日	中央図書館 人文科学系資料・閲覧室 （入口）	
人文科学系ミニ展示	「花見日和」	3月6日～5月6日	中央図書館 人文科学系資料・閲覧室	
	「初夏の愉しみ」	5月8日～7月1日		
	「あの日あの時あの時代（戦後70年）」	7月3日～9月2日		
	「ブラジルの美術と音楽」	9月4日～11月4日		
	「庭園の美」	11月6日～1月6日		
	「かるたいろいろ」	1月8日～3月2日		
	「半えりと根付～着物の名脇役～」	3月4日～5月11日		
美術情報コーナー棚展示	「ボッティチェリとルネサンス」	4月3日～5月6日	中央図書館 人文科学系資料・閲覧室 （美術情報コーナー）	
	「上村松園と女性画家たち」	5月8日～6月1日		
	「アール・デコの世界」	6月12日～8月5日		
	「ル・コルビュジエの建築」	8月7日～9月30日		
	「歌麿・英泉・北斎」	10月2日～11月4日		
	「少女マンガを語る本たち」	11月6日～12月2日		
	「村上隆と日本の現代アート」	12月4日～1月6日		
	「若冲と大観」	1月8日～2月3日		
	「ボタニカル・アート」	2月5日～3月2日		
	「2015年展覧会カタログ」	3月4日～4月6日		
新聞・雑誌ミニ展示	「和の文化をもとめて－『季刊銀花』の40年－」	4月4日～6月1日	中央図書館 新聞閲覧コーナー	
	「日本から世界へ－ニュース雑誌『TIME』の表紙を飾った日本の人々－」	6月12日～8月5日		
	「『旅』の楽しみ今・昔」	8月7日～9月30日		
	「広告を30年間見続けました－雑誌・広告批評－」	10月2日～12月2日		
	「生誕百周年、市川崑」	12月4日～1月6日		
	「明治を駆け抜けた女性実業家、広岡浅子の人生」	2月5日～4月6日		
東京マガジンバンク企画・常設展示	「創刊号に見る明治・大正の時代－文芸誌を中心に－（大正期）」	3月6日～5月6日	多摩図書館展示エリア （閲覧室と同一フロアでスペースを区切って実施）	5,214名
	「創刊号に見る昭和の時代　その1　戦後の創刊ラッシュ」	5月8日～7月1日		4,719名
	「創刊号に見る昭和の時代　その2　文芸雑誌」	7月3日～9月2日		5,679名
	「創刊号に見る昭和の時代　その3　スポーツ雑誌」	9月4日～11月8日		5,552名
	「創刊号に見る昭和の時代　その4　音楽雑誌」	11月20日～1月6日		3,301名
	「創刊号に見る昭和の時代　その5　建築雑誌」	1月8日～3月2日		4,905名
	「創刊号に見る昭和の時代　その6　鉄道雑誌」	3月4日～5月11日		5,698名
東京マガジンバンクミニ展示	「ふみの日」	7月3日～9月2日	多摩図書館雑誌エリア	
	「第153回芥川賞・直木賞」	7月7日～8月5日		
	「中央線をめぐる雑誌」	8月7日～9月2日		

展示内容等		期間	会場	来場者数
東京マガジンバンクミニ展示	「9月12日は宇宙の日～日本人宇宙飛行士に関する雑誌」	９月４日～９月30日	多摩図書館雑誌エリア	
	「ラグビーワールドカップ2015：日本の活躍に関する雑誌」	９月24日～10月31日		
	「10月５日は時刻表の日」	10月２日～11月８日		
	「オリンピック東京2020大会追加種目５競技を提案」	10月２日～11月８日		
	「2015年ノーベル賞」	10月６日～11月８日		
	「追悼　原節子さん」	11月27日～12月９日		
	「追悼　野坂昭如さん」	12月11日～12月24日		
	「ロックの鬼才デイヴィッド・ボウイ逝く」	１月14日～１月28日		
	「第154回芥川賞・直木賞」	１月21日～２月３日		
	「ディカプリオが初のオスカー！（アカデミー賞）」	３月２日～３月10日		
	「北海道新幹線3月26日開業！」	３月４日～５月11日		
	「東日本大震災から5年　2011.3.11を世界はどのように伝えたか（各国の総合誌にみる当時の報道）」	３月11日～３月31日		
	「東日本大震災から5年　世界の2大科学誌『nature』・『Science』に見る震災関連記事」	３月11日～３月31日		
	「北陸新幹線延伸開業1周年！」	３月18日～５月11日		
児童サービスミニ展示	「ほん・本・ごほん」	通年	多摩図書館児童エリア	
	「日本の有名なもの（本で日本を旅しよう　その1）」	４月４日～６月３日		
	「日本の祭り（本で日本を旅しよう　その2）」	６月５日～９月14日		
	「日本の人々（本で日本を旅しよう　その3）」	12月４日～４月６日		
	「子供之友」	通年		
	「これならできる！自由研究」	７月23日～８月31日		
	「水道歴史館新聞」	11月20日～11月30日		
	「クリスマスの本」	12月17日～12月25日		
	「まりーちゃんとひつじ」人形展示	12月22日～２月22日		
青少年サービスミニ展示	「羅針盤」	通年	多摩図書館 児童青少年エリア	
	「羅針盤Ⅱ」	通年		
	「扉をあけてⅡ」	通年		
	「学習応援棚」	通年		
	「こんな本を読んだ！」	４月３日～５月７日		
	「2015年本屋大賞」	４月10日～５月７日		
	「砂川高校読書アクティビティ『本を売り込め！』」	５月８日～９月２日		
	「BONSAI　盆栽」	５月８日～６月17日		
	「世界文化遺産登録勧告」	５月６日～６月17日		
	「うなぎ」	６月18日～８月19日		
	「選挙権年齢改正」	６月23日～８月３日		
	「8月6・9日」	８月４日～８月19日		
	「100の本」	８月20日～９月16日		
	「家」	９月17日～11月８日		
	「音」	11月20日～12月21日		
	「クリスマス」	12月21日～12月28日		
	「暦」	12月28日～２月18日		
	「チョコレートと飴」	２月18日～３月11日		
	「防災」	３月11日～３月31日		
スポット展示	「TAMA selection」	４月３日～９月17日		
	「英語多読棚」	通年		
キャリアデザインコーナーミニ展示	「書く仕事」	４月３日～５月７日		
	「森の仕事」	５月８日～６月17日		
	「海の仕事」	６月18日～８月５日		
	「空の仕事」	８月６日～９月17日		
	「SPORTSをささえる仕事」	９月17日～11月20日		
	「音をつくる仕事」	11月20日～２月18日		
	「お菓子の仕事」	２月16日～３月11日		
	「災害に備える仕事」	３月11日～３月31日		

※「来場者数」に記載がないものは、閲覧室等の一部を会場として展示を行ったため、来場者数の計測をしていない。

(2) 講演会等

区分		講演会名等	日程	会場	参加者数
ビジネス情報サービス	講演会	「ウェブプロモーションによるコミュニティ戦略」	１月16日	中央図書館	68名
	就職活動セミナー	「自分にピッタリの企業を探そう！」	８月22日		62名
	相談会	「ビジネス　起業・創業相談会」	７月25日、９月26日 10月24日、11月28日		29名
法律情報サービス	講演会	「かしこい相続－知っておきたい相続の知恵－」	10月10日	中央図書館	55名
健康・医療情報サービス	講演会	「一生モノのからだづくり～“健幸華麗”のためのスマートダイエット＆エクササイズ～」	12月12日	中央図書館	32名
	企画展示関連ミニ講座	「生活習慣病を防ぐコツ」	12月５日		13名
		「アナタをキレイにする食べかた」	１月９日		30名
	企画展示関連イベント	「まちの保健室」	12月19日		41名
都市・東京情報サービス	連続公開講座	「東京鉄道遺産－現在(いま)に生きる鉄道技術－」	３月６日、13日	中央図書館	109名
企画展示関連講演会		「職業としての外交官－外交官として生きる！－」	10月３日	中央図書館	105名
東京マガジンバンクセミナー		「雑誌の未来を展望する-WEBとSNSでメディアの世界はどう変わる-」	７月11日	多摩図書館	67名
子供読書活動推進事業		小さいひとのおはなし会「ウリボウのへや」	４月～３月（全20回）	多摩図書館	延271名
		夕涼みのおはなし会	７月29日		35名
		のどかな春のおはなし会	３月26日		11名
		さゆり保育園おはなし会	４月～１月（全12回）		延155名
図書館見学ツアー		図書館見学ツアー（通常ツアー８回　テーマ別ツアー10回）	７月～３月	中央図書館	180名
		バックヤードツアー（一般コース５回、マガジンコース２回、映画コース４回、視覚障害者コース２回）	４月～３月（全13回）	多摩図書館	131名
オンラインデータベース検索講習会（オンラインデータベースやCD-ROMの情報検索方法の説明）		ビジネス情報検索ショートセミナー	４月～３月（10回）	中央図書館	29名
		法律情報検索ショートセミナー	４月～３月（７回）		27名
		健康・医療情報検索ショートセミナー	４月～３月（６回）		11名
		検索ショートセミナー（東京情報・美術情報・人物情報等）	４月～３月（12回）		47名
		新聞記事検索ショートセミナー	４月～３月（13回）		32名
		雑誌記事検索ショートセミナー	４月～３月（11回）		24名
電子書籍サービス講習会		電子書籍サービスショートセミナー	２月～３月（４回）	中央図書館	28名

(3) 映画会（多摩図書館）

区分	内容	日程	開催回数	参加者数
定例映画会	１年を通して「日本の自然と文化」というテーマを設定し、所蔵16ミリ映画フィルム（主として記録映画）から選択して上映 特に多摩地域を中心に「多摩川源流からの旅Ⅰ～Ⅲ」「多摩の昭和散歩Ⅰ～Ⅷ」民俗芸能・工芸等の小テーマを設定 この他に劇映画「絵の中のぼくの村」「たけくらべ」「ホーム・スイートホーム」「わが愛の譜滝廉太郎物語」をそれぞれ上映	４月～３月	24回	783名

2　区市町村立図書館職員等への研修等

(1) 区市町村立図書館職員等への専門的研修及び講師派遣

ア　目的

区市町村立図書館職員を対象として専門的な研修を実施することにより、都内の図書館サービスの全体的な向上に寄与することを目的とする。

イ　実施形態

・情報サービス研修（情報サービスに関する知識・技能の向上を図る。）
・障害者サービス研修（通常の方法での読書が困難な利用者へのサービス提供方法の向上を図る。）
・製本研修（資料の基礎的な修復をとおして、資料保全に関する知識・技術の向上を図る。）
・講師派遣（区市町村立図書館からの依頼を受け、都立図書館職員を研修講師として派遣する。）
・その他(各業務及び図書館運営に必要な情報の提供並びに他自治体の職員との交流の場を提供する。)

区分	研　修　・　見学会　・　担当者会名			会　　場	回数	修了者数
情報サービス研修	レファレンス研修	テーマ別研修「美術情報」		中央図書館	1回	34名
		テーマ別研修「東京情報」			1回	33名
		テーマ別研修「法律情報」			1回	31名
		テーマ別研修「ビジネス情報」			1回	29名
		テーマ別研修「新聞雑誌情報」			1回	32名
	児童図書館専門研修	Ⅰ「子供の読書に関する講座Ⅰ」(全3日間)		多摩図書館	1回	105名
		Ⅱ「子供の読書に関する講座Ⅱ」			1回	65名
障害者サービス研修	音訳者講習会	初級研修（全6日間）		中央図書館	1回	24名
		中級研修（全6日間）		多摩図書館	1回	21名
		専門研修		中央図書館	1回	113名
	障害者サービス研修			中央図書館	1回	39名
製本研修	製本研修			中央図書館	2回	41名
講師派遣	朗読特別講習会（7月29日）			豊島区立中央図書館（1名派遣）	1回	34名
	図書の補修・修理研修（8月5日）			武蔵野プレイス（1名派遣）	1回	20名
	図書の補修・修理研修（9月15日）			青梅市中央図書館（1名派遣）	1回	17名
	地域資料の収集（11月26日）			葛飾区立中央図書館（1名派遣）	1回	27名
	音訳者研修（1月21日）			稲城市立中央図書館（1名派遣）	1回	8名
	音訳者養成講習（3月24日）			目黒区立八雲中央図書館(1名派遣)	1回	18名
その他（担当者会等）	東京都公立図書館地域資料担当者会			中央図書館	2回	117名
	都・区市町村立図書館協力レファレンス担当者会				3回	134名
	障害者サービス事務担当者連絡会			中央図書館	1回	51名
	児童・青少年サービス担当者会（合同開催）			多摩図書館	1回	63名
	東京都図書館研究交流会	新館見学会	第1回（10月19日）	渋谷区立笹塚図書館	1回	35名
			第2回（11月6日）	小平市立仲町図書館	1回	57名
			第3回（11月30日）	江東区立砂町図書館	1回	33名
		講演会	第1回（6月24日）	中央図書館	1回	62名
			第2回（1月14日）		1回	77名
	東京都公立図書館長連絡会	全体会	第1回（7月30日）		1回	41名
			第2回（1月21日）		1回	32名
	協力事務担当者会	第1回（5月20日）		中央図書館	1回	104名
		第2回（11月25日）		中央図書館	1回	66名

(2) 関係機関等への講師派遣

区分	研　　修　　名	主　催　者	派遣者数	回数	修了者数
派遣講師	児童図書館員養成専門講座（6月26日）	公益社団法人日本図書館協会	1名	1回	14名

3　学校教育活動への支援事業

(1) 目的

「第三次東京都子供読書活動推進計画」（平成27年２月東京都教育委員会策定）等に基づく諸事業をはじめ、児童・生徒の読書活動や学習活動及び教職員の授業研究や学校図書館運営等に対する支援を実施する。

(2) 事業

ア　学校レファレンス支援サービス

来館、電話、Ｅメール及びファクシミリ等による問合せに対し、回答を行った。

㈠　レファレンス件数　63件

（授業用参考資料並びに修学旅行及び移動教室の事前学習用資料の紹介等）

㈡　子供の読書に関する相談　134件

（子供読書活動推進資料の活用法、資料の加工使用の許諾及び著作権や研修講師の情報等）

イ　職業インタビューの受入れ

学校からの申込みを受け、３校20名の生徒を対象として、司書の仕事の説明及び館内見学を行った。

受　入　校　（学　年）	実施場所	日　程	日　数	参加者数
愛知県みよし市立三好丘中学校（２年）	中央図書館	６月10日	0.2日間	８名
愛知県豊田市立梅坪中学校（２年）	中央図書館	６月17日	0.2日間	６名
町田市立木曽中学校（２年）	中央図書館	11月26日	0.5日間	６名

ウ　職業体験・インターンシップ等の受入れ

学校からの申込みを受け、６校11名の生徒が、職員の指導により、受付、資料の出納、整架及び本の紹介などの図書館の基本的な仕事を体験した。

受　入　校　（学　年）	実施場所	日　程	日　数	参加者数
神津島村立神津中学校（２年生）	中央図書館	５月12日～14日	３日間	１名
世田谷区立駒沢中学校（２年生）		９月16日～18日	３日間	３名
都立白鷗高等学校附属中学校（２年生）		11月10日～12日	３日間	２名
星美学園中学校（２年生）		12月16日、17日	２日間	２名
駒場東邦中学校（２年生）		12月17日	１日間	２名
都立立川ろう学校（高等部２年）	多摩図書館	12月７日～11日	５日間	１名

エ　生徒と図書館をつなぐ取組

４校11名の生徒を図書館に招待し、館内見学、グループ活動（展示の作成、発表等）を行った。

受　入　校	実施場所	日　程	日　数	参加者数
（都立）三田高等学校、小山台高等学校、桜修館中等教育学校 （私立）広尾学園	中央図書館	８月７日	0.5日間	11名

オ　特別支援学校等との連携（出張おはなし会の実施、選書支援等）（所管：多摩図書館）

実　施　校	連携・支援内容	日　程	回　数	参加者数
都立久我山青光学園	出張おはなし会　資料貸出	４月30日、５月20日、７月21日、 １月25日、２月２日	５回	46名
都立立川ろう学校	出張おはなし会	12月９日	１回	29名
都立青峰学園	出張おはなし会	６月８日	１回	17名
都立八王子特別支援学校	出張おはなし会　資料貸出　選書支援	10月19日、10月27日	２回	169名
都立中野特別支援学校	出張おはなし会	12月15日	１回	169名
都立七生特別支援学校	出張おはなし会	１月18日	１回	102名
都立調布特別支援学校	出張おはなし会	１月22日	１回	20名
都立永福学園	出張おはなし会	１月28日	１回	63名
都立八王子東特別支援学校	出張おはなし会	２月９日	１回	50名
都立品川特別支援学校	出張おはなし会	２月１日、２月23日	２回	76名
都立田園調布特別支援学校	選書支援	８月20日	１回	－
都立青山特別支援学校	選書支援	11月19日	１回	－
都立城東特別支援学校	図書室整備支援	５月～３月	１回	－
都立青鳥特別支援学校	図書室整備支援	12月～３月	１回	－

カ　啓発資料・ブックリスト等の提供（所管：多摩図書館）

㋐「東京都子供読書活動推進資料　子どもたちに物語の読み聞かせを」の都内小学校への配布　約110,000部

㋑「東京都子供読書活動推進資料　扉をあけて　Ⅱ」の都内中学校への配布　約110,300部

㋒「東京都子供読書活動推進資料　羅針盤　Ⅱ」の都内高等学校への配布　約117,900部

㋓「都立図書館・学校支援シリーズ　ひとりでよめるよ」の作成および都内小学校への配布　約4,500部

㋔「学校支援ツール」の配布（「読み聞かせＡＢＣ」「特別支援学校での読み聞かせ」「これならできる！自由研究　111枚のアイディアカード集」「これならできる！自由研究111枚のアイディアカード集冊子版」「読み聞かせに挑戦！中学生・高校生編」「ひとりでよめるよ」「えほんかるた」「ほん・本・ごほん」「ほん・本・ごほんクイズ」「ほん・本・ごほんブックトークシナリオ」を希望する学校へ個別配布）　約2,050部

キ　研修講師等の派遣（特別支援学校等への派遣を除く）（所管：多摩図書館）

実施校・研修主催者等	内　　容	日　　程	回　　数	参加者数
八王子市教育センター学校図書館サポートセンター図書館ボランティア研修会	ボランティア対象読み聞かせ講座	６月３日	１回	100名
あきる野市立草花小学校	ボランティア対象読み聞かせ講座	６月９日	１回	18名
東京都教職員研修センター	専門性向上研修　読書活動Ⅱ	８月５日	１回	90名
立川市立中学校教育研究会図書部会研修会	図書館見学および図書の展示、配置方法、選書について講義	８月25日	１回	11名
武蔵野市立小中学校教育研究会図書館研究部	授業研究及び協議会講師	１月13日	１回	７名

ク　学校への講師派遣等（特別支援学校等への派遣を除く）（所管：多摩図書館）

学校からの申込みを受け、おはなし会やブックトークを実施したほか、授業への講師派遣及び資料貸出等を行った。

実　施　校　等	内　　容	日　　程	回　　数	参加者数
都立砂川高等学校	資料貸出	４月８日	１回	－
立川市立第七小学校	図書館見学、絵本の読み聞かせ	５月14日	１回	21名
都立小平西高等学校	読み聞かせ講座	５月15日	１回	23名
福生市立福生第五小学校	資料貸出	６月１日～６月30日	１回	－
羽村市立羽村第一中学校	ブックトーク	６月３日	１回	400名
都立世田谷総合高等学校	読み聞かせ講座	７月10日、７月15日	２回	36名
板橋区立志村小学校	自由研究講座	７月18日	１回	33名
都立国分寺高等学校	ブックトーク	７月31日	１回	28名
都立府中東高等学校	資料貸出	10月21日～11月30日	１回	－
都立上水高等学校	読み聞かせ講座	10月28日	１回	９名
都立立川高等学校定時制	ブックトーク	12月21日	１回	78名

4　職員研修等

(1) 目的

都立図書館職員を対象に、対応すべき課題等に重点を置いた実務的な研修等を実施し、職務遂行上求められる能力や専門知識・技術の習得及び向上を図ることを目的とする。

(2) 実施形態

実務研修及び派遣研修

区分	研修名		会場	回数	修了者数
実務研修	新任・転入職員研修		中央図書館	1回	25名
	新任司書職員研修	（前期）	中央図書館	1回	7名
		（後期）	中央図書館、多摩図書館	1回	7名
	「対話から利用者ニーズを引き出す ホスピタリティマインドの実践」		中央図書館	1回	126名
	製本研修	Ⅰ	中央図書館	1回	10名
		Ⅱ		1回	20名
	「RDA入門」		中央図書館	1回	39名
	「eLibraryUSA（米国国務省電子図書館サービス）」		中央図書館	1回	25名

区分	研修名	主催	日数	修了者数
派遣研修	第11回レファレンス協同データベース事業担当者研修会	国立国会図書館	1日間	2名
	平成27年度関東・甲信越静地区図書館地区別研修	文部科学省	4日間	1名
	図書館業務の愉しみ方：RDA	八洲学園大学	1日間	1名
	ビジネス・ライブラリアン講習会	ビジネス支援図書館推進協議会	3日間	1名
	レファレンスサービス研修－経済社会情報を中心に－	国立国会図書館	2日間	1名
	平成27年度法律図書館連絡会「基礎講座」	法律図書館連絡会	1日間	1名
	第22回医学図書館員基礎研修会	特定非営利活動法人日本医学図書館協会	3日間	1名
	日本病院ライブラリー協会研修	日本病院ライブラリー協会	2日間	1名
	レファレンスサービス研修－科学技術情報を中心に－	国立国会図書館	2日間	1名
	第47回日本子どもの本研究会全国大会	日本子どもの本研究会	1日間	1名
	西洋社会科学古典資料講習会	一橋大学社会科学古典資料センター	3日間	1名
	2015年度障害者サービス担当職員養成講座(基礎コース)	公益社団法人日本図書館協会	3日間	1名
	平成27年度アジア情報研修	国立国会図書館（関西館）	2日間	1名
	東京国際ブックフェア　専門セミナー	東京国際ブックフェア実行委員会 リードエグビジョンジャパン株式会社	1日間	2名
	第37回文化財の虫菌害・保存対策研修会	公益財団法人文化財虫菌害研究所	2日間	1名
	保存フォーラム	国立国会図書館	1日間	5名
	第９回資料保存シンポジウム	情報保存研究会 公益社団法人日本図書館協会	1日間	5名
	基礎から学ぶセキュア環境構築・運用入門編／ 情報セキュリティ対策実践シリーズ	株式会社富士通ラーニングメディア	2日間	1名
	デジタル情報記録アドバイザー資格取得講座	一般社団法人デジタル情報記録管理協会	2日間	1名
	著作権セミナー	文化庁著作権課	1日間	3名
	ソーシャルメディア活用セミナー	公益社団法人日本広報協会	1日間	1名
	第101回全国図書館大会	公益社団法人日本図書館協会	1日間	9名

５　刊行物及びホームページでの情報提供

(1) 刊行物一覧表(平成27年度中に発行した刊行物)

名　　称	発行年月日	発行部数
【中央図書館】		
事業概要　平成27年度版	平成27年８月	800部
東京都立中央図書館　新聞・雑誌目録　2015年12月現在	平成28年３月	40部
東京都立多摩図書館　新聞・雑誌目録　2015年12月現在	平成28年３月	20部
東京都公立図書館録音・点訳図書、拡大写本新作情報　No.175～No.180	平成27年４月 ～平成28年２月	各300部
視覚障害者サービス情報　No.50～No.52	平成27年６月 ～平成28年２月	各250部
【多摩図書館】		
ひとりでよめるよ	平成28年３月	4,500部

(2) 有償刊行物(都庁第一本庁舎３階　都民情報ルーム等で販売)

名　　称	販売開始日	頒布価格	平成27年度販売部数
読み聞かせＡＢＣ　集団の子供たちへの読み聞かせに	平成24年８月22日	200円	563部
これならできる！自由研究 111枚のアイディアカード集　冊子版	平成26年６月５日	150円	353部

(3) 東京都立図書館ホームページの主な掲載情報

レファレンス事例データベース	都立図書館に寄せられたレファレンス事例を再構成し、キーワード等で検索することができるページ
江戸東京デジタルミュージアム	都立図書館が所蔵する江戸・東京の資料を通じて、歴史や文化を楽しみながら学ぶことができるページ
クローズアップ都市・東京情報	都政や東京のニュースや話題をとりあげ、インターネット情報と都立図書館の資料を紹介するページ
都市・東京の記憶	都立中央図書館が所蔵する、明治期からの東京府や東京市が発行した資料など東京関係の資料を、画像で紹介するページ
ＴＯＫＹＯアーカイブ	都立図書館が所蔵する江戸・東京関係のデジタル化資料を、検索・閲覧することができるページ
こどもページ	テーマ別の本の紹介や、図書館に新しく入った児童書などを紹介する、子供向けのページ
青少年のページ	進路や仕事など将来のことを考えるのに役立つ本や、教科学習に関連する本などを紹介する、中高生世代向けのページ
東京の公立図書館情報	都内にある公立図書館で所蔵している本や資料を検索したり、所在地や行き方を調べることができるページ
専門図書館ガイド	都内及び近県にある専門図書館等（特定分野の資料を所蔵する資料室や図書館）を、分野やキーワード等で検索することができるページ
区市町村立図書館新聞雑誌総合目録	都内の区市町村立図書館で所蔵している新聞雑誌を検索したり、館別のタイトル一覧を見ることができるページ

Ⅵ　所蔵コレクションの紹介

1　中央図書館

(1) 特別文庫室資料

特別文庫室では江戸時代後期から明治時代中期の資料を中心に、約 243,000 点（冊）を所蔵している。これらの資料は、①大正天皇即位礼に際し、東京市に下賜された 10 万円を基金として東京関係資料を収集した東京誌料(ア)、②第二次世界大戦中に東京都が民間の学者や蔵書家から買い上げ、疎開させることによって戦災を免れた戦時特別買上図書（イ～ケ)、③寄託・寄贈資料など（コ～セ）からなっている。

資料は和書、漢籍、絵図、地図、錦絵、建築図面、書簡、拓本、書画、写真など多岐にわたり、当館でしか存在が確認できない資料も多く含まれている。

以下、資料の点数（冊数）には複製資料を含まない。

ア　東京誌料　約 43,500 点（冊）

物語・草双紙・人情本などの文学書類、長禄年代（1450 年代）から大正・昭和に至るまでの地図類、武鑑、錦絵、双六類を中心として、地誌、歴史、風俗、伝記、美術、音曲、演劇、娯楽、法制、産業、経済等、あらゆる分野の東京の郷土誌料を収集している。江戸城造営の大棟梁の職にあった甲良家の「江戸城造営関係資料」646 点は、昭和 62 年に国の重要文化財に指定されている。

イ　加賀文庫　約 24,100 点（冊）

加賀豊三郎氏（1872-1982）の旧蔵書で、和書、古文書、石牘、名家手蹟等を主とする。特に 1,000 余点に及ぶ黄表紙ならびに数百点の洒落本は、近世文学の世界では珍重されているものである。

ウ　諸橋文庫　約 20,000 冊

文学博士諸橋徹次氏（1883-1982）旧蔵の和漢書、経学、史書子類及び集類、叢書及び類書、学者の自筆稿本及び書入本、明版及び清の印本、名家の旧蔵本及び自署本等、漢籍を主とする文庫である。

エ　河田文庫　約 1,900 冊

元大蔵大臣（昭和 15）河田烈氏(1883-1963)の旧蔵書で、祖父河田迪斎から代々集積された書籍である。曽祖父に当たる佐藤一斎の「愛日楼全集」56 巻の写本、「言志録」の稿本、一斎自筆の日記「腹暦」22 冊ほか、一斎の手写本、書入本、著作、自筆書簡等、貴重なものが多く含まれている。

オ　市村文庫　約 30,200 冊

市村瓚次郎氏(1864-1947)の旧蔵書で、漢籍、朝鮮図書、東洋史関係の逐次刊行書などからなり、東洋史研究家にとっては貴重なコレクションである。市村氏の出身地である茨城県の郷土資料なども含まれている。

カ　井上文庫　約 24,300 冊

井上哲次郎（巽軒）氏(1885-1944)旧蔵書のうちの和装本を集めた文庫である。特に哲学、宗教関係資料が多く、中国思想、日本思想、儒教はもとよりキリスト教や倫理学にまで及んでいる。漢詩文なども所蔵する。

キ　実藤文庫　約 7,600 冊

実藤恵秀氏（1896-1985）の旧蔵書で、清末以降の日中文化交流に関する資料の文庫である。中国人の日本旅行記、留学生を対象とした日本語の学習書、日本書の漢訳、中国雑誌の創刊号等を収蔵する。魯迅が創刊した雑誌なども含まれている。

ク　渡辺刀水旧蔵諸家書簡文庫　約 8,500 点

もと軍人であり、人物研究家としても活躍した渡辺金造(刀水)氏（1874-1965）が、現役中から退役後にかけて収集した、近世末期から近代の各分野にわたる人物の書簡を収録する。新井白石、伊藤圭介関係書簡等も含まれている。

ケ　特別買上文庫　諸家　約 38,600 点（冊）

戦時特別買上図書のうち、上記イ～ク以外の 30 余氏の旧蔵書である。

(ア) 国書　言語・文学　約 6,000 冊

言語関係資料には安藤文庫（安藤正次氏旧蔵）の落合直澄旧蔵書、文学関係資料には池田文庫（池田亀鑑氏旧蔵）の伊勢物語の様々な版本や蜂屋文庫(蜂屋茂橘氏旧蔵)

の草双紙類 600 余点がある。

(ｲ) 国書　総記・その他　約 10,000 点（冊）

岡文庫(岡千仞[鹿門]氏旧蔵)の稿本類、反町文庫（反町茂雄氏旧蔵）の仏教関係古写本、中山文庫（中山久四郎氏旧蔵）の朝鮮使節関係資料、宍戸文庫(宍戸昌氏旧蔵)の海雲楼博物雑纂ほかがある。

(ｳ) 漢籍　約 20,000 冊

漢籍及び準漢籍をまとめ、四庫分類により整理されている。かつての著名な古書店文求堂の田中慶太郎・乾郎父子旧蔵資料を始めとして、中山文庫、岩垂文庫（岩垂憲徳氏旧蔵）、蜂屋文庫、横山文庫（横山健堂氏旧蔵）にも伝本の少ない資料が多い。

(ｴ) 拓本　約 1,600 点

「日本」の部と「中国・朝鮮」の部に分け、碑・器物等の成立年代順の目録が作られている。

(ｵ) 書画　約 1,000 点

主として、渡辺金造氏旧蔵の軸装、加賀豊三郎氏旧蔵の一枚もの、及び蜂屋茂橘氏旧蔵の扇面とからなっている。いずれも副次的収集によるものと思われ、特に系統だってはいないが、中には希覯なものも含まれている。

コ　近藤記念海事財団文庫　約 1,500 点

もと日本郵船株式会社社長近藤廉平氏(1848-1921)の海運事業に対する功績を顕わすため設立された近藤記念海事財団が、その記念事業の一つとして設置したもので、昭和 6 年に当時の市立日比谷図書館に寄託され、一般公開された。

昭和 20 年に戦災で半数以上が焼失したが、現存する資料は、海運、航海、漂流記、海事史、海事行政等に関するもので、この種の研究、調査には不可欠の貴重な資料である。

サ　青淵論語文庫　約 5,800 冊

論語を愛好した渋沢栄一（青淵）氏（1840-1931）が創始した文庫で、大正 12 年の関東大震災でそのほとんどを失ったが、孫の渋沢敬三氏(1896-1963)がその意志を継ぎ、収集したものである。論語を主軸とした四書類の正文・古注・朱注・注釈・擬本等を収録する。昭和 38 年に都立日比谷図書館に寄贈された。

シ　中山太郎収集詫状類　約 200 点

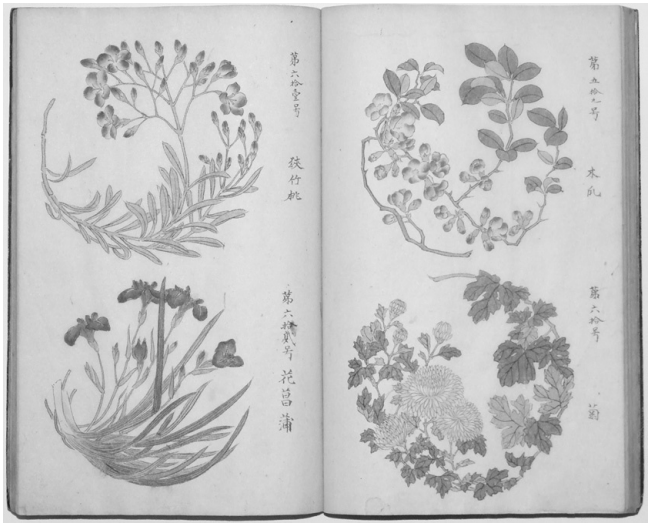
中山太郎氏(1876-1947)が収集した、正保 2（1645）年から大正 4（1915）年にかけての、詫状を中心とした文庫である。他に類を見ない珍しいコレクションである。

ス　木子文庫　約 29,000 点

代々内裏の作事に関わる大工であった木子家伝来の資料で、1975 年に木子清忠氏(1913-1995)から寄贈された建築関係資料である。明治宮殿及び明治期洋風建築の図面類が最も多く、江戸中期以降の近畿地方の寺社、御所等の建築図、工匠他家の資料も含まれている。

セ　新収資料　約 7,500 点

戦後寄贈された資料、補完のために購入した資料等が含まれている。



▲『皇城千草御間格天井綴錦草花図』写
請求記号：加 2063

明治 21 年(1888)、現在の宮殿の前身にあたる「明治宮殿」が建てられました。この資料は、その明治宮殿の中で、最も華やかな部屋として知られていた千種の間の格天井の下絵です。江戸時代後期から明治時代にかけて活躍した美術家、柴田是真・真哉親子が手がけました。下絵をもとに、金地で花丸文の綴錦という織物がつくられ、112 面の天井の格子の中に嵌め込まれました。東京藝術大学附属図書館には、最終と言われる下絵が残されていますが、当館が所蔵するこの資料とは、草花の図柄や配置に違いが見られます。

(2) 東京資料

主に明治以降に刊行された江戸及び東京関係資料を包括的に収集している。都の各部局の刊行物及び区市町村の編集発行物などの行政資料を中心に、個人、出版社及び各種団体で編集発行された郷土資料など図書約 227,200 冊を所蔵している。また、都及び区市町村の広報紙をはじめとする新聞は約 620 種、雑誌は約 2,050 種である。

「TOKYO アーカイブ」や「都市・東京の記憶」では、絵葉書、写真帖、近代の地図、東京府・東京市関係資料等、所蔵資料の一部の画像を公開している。

(3) 海外資料

利用者の調査研究活動及び教養の向上に資するため、外国語図書を幅広く所蔵している。特に、書誌索引類や言語辞典、各分野の辞典等参考図書の充実を図っている。

参考図書以外では、自然科学・工学・産業の分野は概説書等が中心であるが、人文科学関係等については、日本における研究や出版の少ないもの、学術的に価値の高いもの等、専門書や研究書も収集・所蔵している。

日本に関する外国語図書、日本文学の各国語翻訳書も収集しており、蔵書において特色の一つとなっている。

ア　洋書

英語を中心に、ドイツ語、フランス語、ロシア語、スペイン語、イタリア語及びその他の外国語で書かれた図書約 155,000 冊（中国語、韓国・朝鮮語図書を除く。）がある。

国際化に対応し、在日外国人の就業や生活に役立つ資料や他国の観光、都市計画、防災、福祉に関する資料、オリンピック関連資料を所蔵している。

イ　中国語、韓国・朝鮮語図書

(ｱ) 中国語図書

中国、香港特別行政区及び台湾などで発行された現代中国語図書約 66,000 冊がある。

1972 年から収集を開始し、古典や現代小説などの文学や、社会科学、歴史・地理、中国医学、芸術などの幅広いジャンルにわたっている。

(ｲ) 韓国・朝鮮語図書

大韓民国と朝鮮民主主義人民共和国両国で発行された現代書を中心とする韓国・朝鮮語図書約 21,000 冊がある。

1975 年から収集を開始し、収集分野は多岐にわたるが、なかでも韓国・朝鮮の歴史や地理、政治・経済や風俗風習、さらに伝統芸能や文学に関する資料が充実している。

2　多摩図書館

(1) 山本有三文庫

小説家、劇作家である故山本有三氏（1887-1974）の旧蔵書で、文学・国語・歴史を中心とした図書約 13,500 冊、雑誌約 300 誌がある。

(2) 雑誌創刊号コレクション

「東京マガジンバンク」では、雑誌の創刊号を収集し「創刊号コレクション」として、平成 28 年３月末現在 6,608 誌を所蔵している。開架閲覧室のコーナーには、その中から選んだ雑誌の表紙をパネル展示している。

創刊号は、発行年代順やジャンル別に比較し、通覧することで時代の流れが見えるもので、貴重なコレクションである。

(3) 児童・青少年資料

明治以降に日本で出版された児童書（図書・雑誌）、海外で刊行された児童書、児童図書館についての研究書、青少年用図書など約 220,000 冊を所蔵している。内、中国、韓国・朝鮮語図書を中心としたアジア系諸言語の児童図書は、約 6,100 冊である。

貴重なコレクションとしては、明治期刊行の「ちりめん本」といわれる日本の昔話絵本シリーズがある。これは、縮緬（ちりめん）のように縮れた和紙を使い、外国人向けに刊行されたものである。

また、戦前から戦後にかけて子供向けに発行された「少国民新聞」の一部を所蔵している。

青少年用資料は、調べ学習、進路選択を支援する資料を中心に、幅広い分野から厳選し所蔵している。

Ⅶ　東京都立図書館協議会

1　東京都立図書館協議会の概要

東京都立図書館協議会は、図書館法第 14 条及び東京都立図書館条例第３条に基づいて設置されている機関であり、都立中央図書館長の諮問に応じるとともに、図書館サービスについて意見を述べる役割を担っている。

2　第 27 期東京都立図書館協議会について

第 27 期の図書館協議会は平成 27 年７月１日に設置された。「世界一の都市・東京を支える情報センター目指して　－2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とした都立図書館の取組－」をテーマとして協議を行い、平成 27 年度は定例会を３回、専門部会を２回開催した。

平成 28 年度は、提言の取りまとめに向けて引き続き協議を行う。

＜定例会＞

第１回（平成 27 年８月 27 日開催）

(1) 協議テーマの決定
(2) 今後の協議に向けて
(3) 都立図書館の課題と現在の取組
(4) 今後のスケジュールと協議の進め方について

第２回(平成 27 年 11 月 30 日開催)

世界一の都市・東京を支える都立図書館のサービスについて

第３回（平成 28 年２月 26 日開催）

都立図書館における広報の刷新に向けて

＜専門部会＞

サービス専門部会（平成 27 年 10 月８日開催）
広報専門部会（平成 28 年１月 29 日開催）

3　第 27 期東京都立図書館協議会委員名簿（任期　平成 27 年７月１日～平成 29 年６月 30 日）

氏　　名	職　　名　（平成 27 年７月１日現在）　※五十音順
小　田　光　宏	青山学院大学教育人間科学部教授
小　林　淳　一	東京都歴史文化財団江戸東京博物館副館長
駒　橋　恵　子	東京経済大学コミュニケーション学部教授
近　藤　精　一	東京学芸大学教職大学院特任教授
齊　藤　一　誠	国際基督教大学学長特別補佐ｱﾄﾞｳﾞｧﾝｽﾒﾝﾄ･ｵﾌｨｽ部長
坂　口　雅　樹	元明治大学学術・社会連携部 和泉図書館事務長
笹　　のぶえ	東京都立三田高等学校長
杉　江　典　子	駿河台大学メディア情報学部教授
野　原　佐和子	株式会社イプシ・マーケティング研究所代表取締役社長
宮　崎　活　志	武蔵野市教育委員会教育長
森　　富　子	渋谷区教育委員会教育長
吉　本　光　宏	ニッセイ基礎研究所研究理事

東京都立図書館協議会答申等の沿革

期	期　　間	答申等年月	答　　申　　等
第１期	昭和35年２月 ～昭和37年１月	昭和37年２月	東京都の公共図書館総合計画 （答申）
第２期	昭和37年２月 ～昭和39年１月	昭和38年７月	東京都立日比谷図書館分館の建設について （意見具申）
第４期	昭和41年３月 ～昭和43年２月	昭和43年２月	都立日比谷図書館における司書職のあり方 （答申）
第６期	昭和45年４月 ～昭和47年３月	昭和46年12月	東京都立中央図書館の専門職員の養成に関する答申 （答申）
第８期	昭和47年７月 ～昭和49年６月	昭和49年６月	東京都立中央図書館における心身障害者サービスのあり方　（答申）
第11期	昭和55年９月 ～昭和57年９月	中間答申 昭和56年６月 最終答申 昭和57年５月	都立図書館の体系化及び近代化に関する答申 （答申）
第15期	昭和63年10月 ～平成２年10月	中間答申 平成２年３月 最終答申 平成２年10月	新日比谷図書館の機能について （答申）
第16期	平成３年１月 ～平成５年１月	平成４年12月	都立図書館の資料の保存機能について （意見具申）
第17期	平成５年４月 ～平成７年４月	平成７年３月	都立中央図書館における当面の海外資料サービスのあり方について　（意見具申）
第18期	平成７年７月 ～平成９年７月	平成９年３月	２１世紀の都民生活を豊かにする都立図書館の創造 －生涯学習社会における都立図書館の役割－ （答申）
第19期	平成９年11月 ～平成11年10月	平成11年10月	児童・青少年に対して図書館は何ができるか？ －社会問題への図書館の関わり方－　（提言）
第20期	平成11年11月 ～平成13年10月	平成13年10月	高度情報化社会における都立図書館のサービスのあり方 －ＩＴを活用したサービスの革新－　（提言）
第21期	平成14年４月 ～平成16年３月	平成15年３月 平成16年２月	子どもの読書活動推進をはかるために都立図書館は何をすべきか　（提言１） 都内公共図書館発展のための連携協力について （提言２）
第22期	平成16年10月 ～平成18年９月	平成18年３月	調査研究図書館におけるサービスのあり方について （答申）
第23期	平成18年12月 ～平成20年11月	平成20年11月	都立図書館のサービスと図書館改革の評価について （提言）
第24期	平成21年５月 ～平成23年４月	平成23年３月	デジタル時代の都立図書館像 （提言）
第25期	平成23年５月 ～平成25年４月	平成25年３月	都民の課題解決に役立つ図書館を目指して －より質の高い図書館サービスの追求－　（提言）
第26期	平成25年５月 ～平成27年４月	平成27年３月	読書活動の推進に向けた都立図書館の役割について （提言）

Ⅷ　資料

1　東京都立図書館館則

（昭和62年3月20日　東京都教育委員会規則第11号）
最終改正　平成20年12月25日

第１章　総則

（目的）

第１条　この規則は、東京都立中央図書館（以下「中央図書館」という。）及び東京都立多摩図書館（以下「多摩図書館」という。）の運営等に関し、必要な事項を定めることを目的とする。

（図書館の運営）

第２条　図書館法（昭和25年法律第118号）の趣旨に基づき、中央図書館は、主として情報サービス、都内公立図書館その他の図書館等（以下「都内公立図書館等」という。）に対する協力支援及び図書館未整備地域に対する補完サービスを、多摩図書館は、主として雑誌、児童資料及び青少年資料等に関する情報サービス等を行うものとする。

２　中央図書館及び多摩図書館は、中央図書館の統括の下に、相互に機能を分担し、密接な連携を図り、一体的な運営を行うものとする。

第２章　中央図書館

（事業）

第３条　中央図書館は、次の事業を行う。

一　図書館資料の館内利用
二　利用者に対する情報サービス
三　都内公立図書館等に対する協力支援
四　島しょ地域の図書館未整備地域に対する補完サービス
五　図書資料（図書館資料のうち視聴覚資料を除く。以下同じ。）のマイクロフィルム及び電子媒体並びに東京に関するフィルム、磁気テープ等の作製
六　時事に関する情報及び参考資料の紹介及び提供
七　視覚障害者に対する資料の朗読及び録音
八　図書資料等の複写
九　図書館職員等に対する研修
十　海外の図書館等との交流
十一　その他中央図書館の目的達成のために必要な事業

（開館時間及び休館日）

第４条　中央図書館の開館時間及び休館日は、別表のとおりとする。ただし、東京都教育委員会（以下「教育委員会」という。）は、事情によりこれらを変更し、又は臨時に休館日を指定することができる。

（入退館）

第５条　中央図書館に入館しようとする者は、図書館資料の利用に伴い必要とするものを除き、所持品を所定のロッカーに収納するものとする。

２　中央図書館長（以下この章において「館長」という。）は、図書館の秩序を乱し、又は他人に迷惑を及ぼした者に対し、図書館資料の閲覧の停止又は退館をさせることができる。

（開架閲覧室等）

第６条　中央図書館の入館者が図書資料の閲覧等に利用できる場所は、館長が別に定める。

（視覚障害者サービス室）

第７条　視覚障害者は、中央図書館の視覚障害サービス室を利用することができるものとし、その利用については、館長が別に定める。

（利用者の行う複製）

第８条　館長は、中央図書館の図書館資料の複製につき特別の事情があると認める場合には、方法等を指定の上、利用者の機材により複製させることができる。

（協力支援に伴う貸出し）

第９条　都内公立図書館等に対する中央図書館の図書館資料の貸出しに関しては、館長が別に定める。

（損害賠償）

第10条　中央図書館において、利用者が図書館資料を紛失し、又は損傷した場合には、別に定めるところにより、その損害を賠償しなければならない。

第３章　多摩図書館

（事業）

第11条　多摩図書館は、次の事業を行う。

一　図書館資料の館内利用
二　主として雑誌、児童資料及び青少年資料等に関しての利用者に対する情報サービス
三　主として雑誌、児童資料及び青少年資料等に関しての都内公立図書館等に対する協力支援
四　時事に関する情報及び参考資料の紹介及び提供
五　視覚障害者に対する資料の朗読及び録音
六　図書資料等の複写

七　視聴覚資料の団体に対する館外貸出し
八　その他多摩図書館の目的達成のために必要な事業

（開館時間及び休館日）

第12条　多摩図書館の開館時間及び休館日は、別表のとおりとする。ただし、教育委員会は、事情によりこれを変更し、又は臨時に休館日を指定することができる。

（入退館）

第13条　多摩図書館に入館しようとする者は、図書館資料の利用に伴い必要とするものを除き、所持品を所定のロッカーに収納するものとする。

2　多摩図書館長（以下この章において「館長」という。）は、図書館の秩序を乱し、又は他人に迷惑を及ぼした者に対し、図書館資料の閲覧の停止又は退館をさせることができる。

（開架閲覧室等）

第14条　多摩図書館の入館者が図書資料の閲覧等に利用できる場所は、館長が別に定める。

2　視覚障害者は、多摩図書館の対面朗読室を利用することができるものとし、その利用については、館長が別に定める。

（利用者の行う複製）

第15条　館長は、図書館資料の複製につき特別の事情があると認める場合には、方法等を指定の上、利用者の機材により複製をさせることができる。

（損害賠償）

第16条　多摩図書館において、利用者が図書館資料を紛失し、又は損傷した場合には、別に定めるところにより、その損害を賠償しなければならない。

（視聴覚資料の館外貸出し）

第17条　多摩図書館における視聴覚資料の団体に対する館外貸出しの手続きについては、館長が別に定める。

（視聴覚資料の利用）

第18条　館長は、前条の規定により貸出しを受けた団体が視聴覚資料の返還を怠り、又は督促しても返還しない場合には、以後当該団体に対し、視聴覚資料の利用をさせないことができる。

第４章　補則

（委任）

第19条　この規則の施行について必要な事項は、東京都教育委員会教育長が定める。

附　則

（施行期日）

1　この規則は、昭和 62 年 4 月 1 日から施行する。

（東京都立、立川、青梅、八王子図書館館則の廃止）

2　東京都立、立川、青梅、八王子図書館館則（昭和32年東京都教育委員会規則第27号）は、廃止する。

附　則（昭和 63 年教委規則第 17 号）

この規則は、昭和 63 年 4 月 1 日から施行する。

附　則（平成 3 年教委規則第 18 号）

この規則は、平成 3 年 4 月 1 日から施行する。

附　則（平成 14 年教委規則第 27 号）

この規則は、平成 14 年 4 月 1 日から施行する。

附　則（平成 16 年教委規則第 24 号）

この規則は、平成 16 年 4 月 1 日から施行する。

附　則（平成 18 年教委規則第 34 号）

この規則は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。

附　則（平成 20 年教委規則第 75 号）

この規則は、平成 21 年 4 月 1 日から施行する。ただし、第 6 条の規定は、公布の日から施行する。

別　表（第４条、第12条関係）

<table>
<tr><th colspan="3">開　館　時　間</th></tr>
<tr><td rowspan="3">中央図書館</td><td>月曜日から金曜日まで（1 月 4 日を除く。）</td><td>午前 10 時から午後 9 時まで。ただし、その日が国民の祝日に関する法律（略）第３条に規定する休日（略）に当たるときは、午前 10 時から午後 5 時 30 分まで</td></tr>
<tr><td>土曜日及び日曜日（1 月 4 日を除く。）</td><td>午前 10 時から午後 5 時 30 分まで</td></tr>
<tr><td>1 月 4 日</td><td>午後 1 時から午後 9 時まで。ただし、土曜日、日曜日及び休日に当たるときは、午後 1 時から午後 5 時 30 分まで</td></tr>
<tr><td rowspan="3">多摩図書館</td><td>月曜日から金曜日まで（1 月 4 日を除く。）</td><td>午前 9 時 30 分から午後 7 時まで。ただし、その日が休日に当たるときは、午前 9 時 30 分から午後 5 時まで</td></tr>
<tr><td>土曜日及び日曜日（1 月 4 日を除く。）</td><td>午前 9 時 30 分から午後 5 時まで</td></tr>
<tr><td>1 月 4 日</td><td>午後 1 時から午後 7 時まで。ただし、土曜日、日曜日及び休日に当たるときは、午後 1 時から午後 5 時まで</td></tr>
<tr><th colspan="3">休　館　日</th></tr>
<tr><td colspan="2">年　　始</td><td>1 月 1 日から同月 3 日まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">年　　末</td><td>12 月 29 日から同月 31 日まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">設備等の保守点検日</td><td>毎月 1 日以内</td></tr>
<tr><td colspan="2">館内整理日</td><td>毎月第一木曜日。ただし、その日が休日又は他の休館日に当たる時は、第二木曜日</td></tr>
<tr><td colspan="2">特別整理期間</td><td>1 年のうち 12 日以内</td></tr>
</table>

2　東京都立図書館沿革

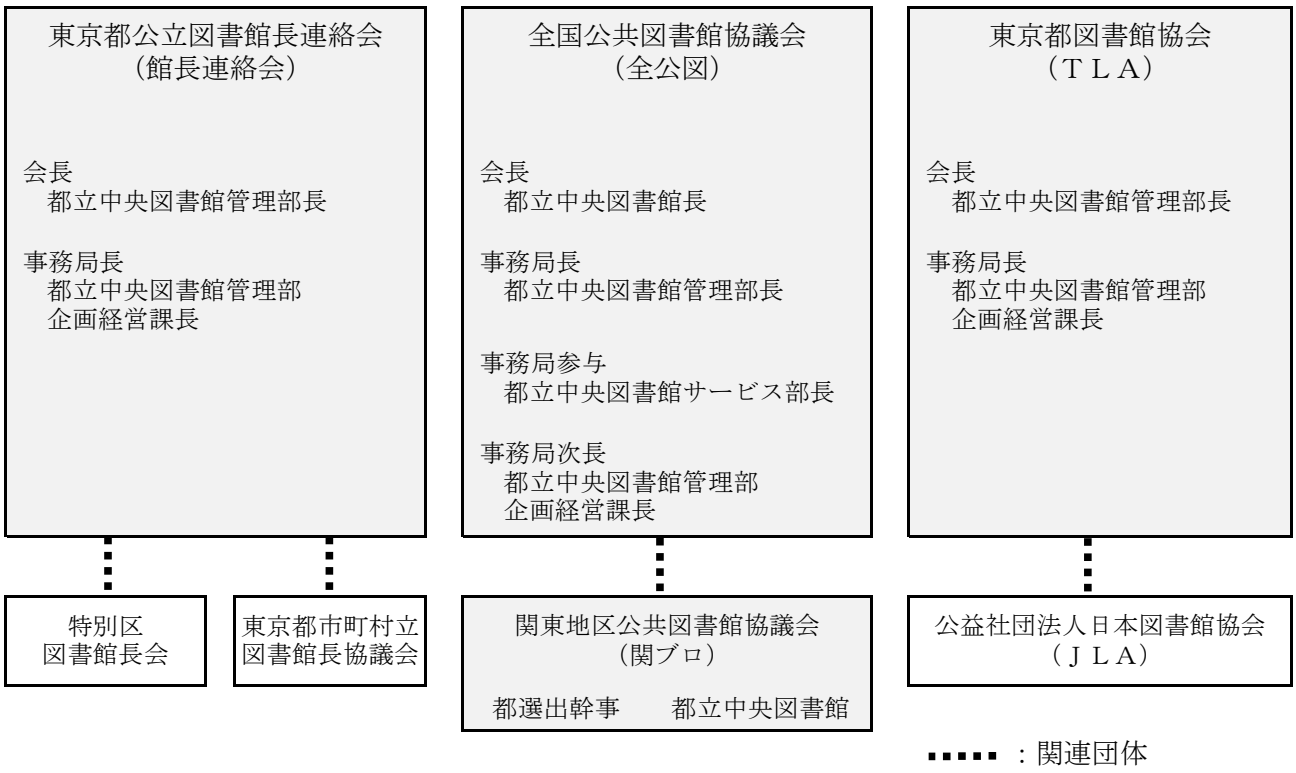
明治 37. 3 東京市議会で通俗図書館の設置を決議
41.11 東京市立日比谷図書館開館
大正 元. 9 東京市立図書館処務規程制定
4. 3 東京市立図書館館則及び同処務規程改正、日比谷図書館を中心とする東京市立図書館体制成立(19 館)
昭和 6. 4 東京市立図書館処務規程改正
18. 7 都制施行、都立図書館となる。
20. 5 都立日比谷図書館空襲焼失
22. 1 都立立川図書館開館
3 都立青梅図書館開館
24.11 都立日比谷図書館再開
25.10 都立日比谷図書館を除く、区部の都立図書館、区へ移管
30. 1 市立八王子図書館、都へ移管
2 都立日比谷図書館、養生館へ移転
32.10 都立日比谷図書館新館開館
36. 4 都立日比谷図書館増改築、開館
37. 2「東京都の公共図書館総合計画 1962」(都立日比谷図書館協議会答申)
38. 7「東京都立日比谷図書館分館の建設について」(都立日比谷図書館協議会答申)
39. 3 東京都立図書館設置条例制定
43. 2「都立日比谷図書館における司書職のあり方」(都立日比谷図書館協議会答申)
3 都立中央図書館(仮称)建設計画策定
44. 9「東京都立図書館の整備充実計画」策定(都立日比谷図書館)
45. 6「図書館政策の課題と対策」(都の公共図書館振興施策)を知事に報告(図書館振興プロジェクトチーム)
46.12「東京都立中央図書館の専門職員の養成に関する答申」(都立日比谷図書館協議会)
47.10 東京都立図書館設置条例一部改正 (昭和 47 年 12 月 東京都立中央図書館設立)
11「司書職制度を中心とした区立図書館振興対策」について知事に報告(図書館振興プロジェクトチーム)
12 都立江東図書館基本構想策定(図書館建設問題協議会)(東京都中期計画－1972－に組み入れる)
48. 1 都立中央図書館開館
10 都立江東図書館基本計画策定(図書館建設委員会、建設調査会)
49. 6「東京都立中央図書館における心身障害者サービスのあり方」について(都立中央図書館協議会答申)
9「都立多摩センター図書館(仮称)構想」中間報告(多摩三館連絡会)
51. 3 東京都立図書館設置条例一部改正、東京都立江東図書館館則制定(昭和 51 年 4 月 東京都立江東図書館設立、昭和 51 年 6 月 開館)
53. 7「都立図書館整備の方向と対策(中間報告)」(都立図書館のあり方検討委員会)
9「多摩地区における都立図書館の将来構想」を教育長に報告(多摩地区都立図書館将来計画検討協議会)
56. 6「都立図書館の体系化および近代化に関する中間答申」(都立中央図書館協議会)
57. 3「都立図書館のあり方検討委員会第二次報告」(都立図書館のあり方検討委員会)
3「都立中央図書館電算システム導入に関する基本構想」策定(都立中央図書館)
5「都立図書館の体系化および近代化に関する答申」(都立中央図書館協議会答申)
5「都立多摩図書館(仮称)検討報告書」(多摩三館連絡会)
11「東京都多摩教育センター(仮称)基本計画概要」発表(教育庁)
12「多摩教育センター内都立多摩図書館の具体的構想と課題」(多摩三館連絡会)
59. 8「都立図書館電算システム基本計画」策定(都立中央図書館)
60. 3 都立図書館電算システム設計開始
61. 6 東京都立図書館設置条例の一部改正 (昭和 61 年 10 月 東京都立江東図書館を江東区へ移管)
62. 3 東京都立図書館設置条例改正 (名称変更：東京都立図書館条例 昭和 62 年 4 月 東京都立多摩図書館設立)

昭和 62. 5 都立多摩図書館開館
63. 3 都立図書館電算システム和図書稼動
10 都立図書館電算システム逐次刊行物(年鑑・年報)稼動
平成 元. 6 都立図書館電算システム洋書稼動
10 都立図書館電算システム逐次刊行物(新聞・雑誌)稼動
2. 3「新日比谷図書館の機能について」(都立図書館協議会中間報告)
10「新日比谷図書館の機能について」(都立図書館協議会答申)
4. 4 ＣＤ－ＲＯＭによる東京都図書館情報ネットワーク稼動
12「都立図書館の資料の保存機能について」(都立図書館協議会意見)
7. 3「都立中央図書館における当面の海外資料サービスのあり方について」(第 17 期東京都立図書館協議会意見書)
9. 3「新日比谷図書館基本構想」(教育庁新日比谷図書館基本構想検討委員会)
「21 世紀の都民生活を豊かにする都立図書館の創造－生涯学習社会における都立図書館の役割」(第 18 期東京都立図書館協議会答申)
10. 3「東京都立図書館中期運営計画」策定 (都立三館)
7 都立図書館処務規則全部改正
11. 10「児童・青少年に対して図書館は何ができるか？－社会問題への図書館の関わり方」(第 19 期東京都立図書館協議会提言)
11「資料保存計画」策定 (東京都立図書館資料保存委員会)
東京都教育委員会「とうきょう親子ふれあいキャンペーン」＝図書館活用講座実施
12 新電算システム移行に伴い目録カードの廃止、電算工事開始
12. 2 都立図書館新電算システム稼動
都立図書館ホームページ開設
3「東京都立図書館情報サービス規程」制定
13. 4 政策立案支援サービスを全庁対象に実施
8 都立日比谷図書館耐震補強工事のため休館 (平成 14 年 2 月まで、休館中に児童青少年資料を多摩図書館に移送)
10「高度情報化社会における都立図書館のサービスのあり方－ＩＴを活用したサービスの革新」(第 20 期東京都立図書館協議会提言)
11 都立図書館事務事業評価結果が出る。
14. 1「今後の都立図書館のあり方～社会経済の変化に対応した新たな都民サービスの向上を目指して～」(都立図書館あり方検討委員会報告)
3「東京都立図書館館則」「東京都立図書館処務規則」「東京都立図書館係設置に関する規定」の一部改正
4 都立中央・日比谷・多摩図書館の３館を組織統合し都立図書館として一体化運営を図る。
都立中央・多摩図書館入館年齢制限を撤廃
5 都立多摩図書館、児童・青少年サービスを開始
15. 3「子ども読書活動推進をはかるために都立図書館は何をなすべきか」(第 21 期東京都立図書館協議会提言１)
6 都立中央図書館「ビジネス支援サービス」を開始 (平成 19 年度から、「ビジネス情報サービス」に変更)
16. 2「都内公共図書館発展のための連携協力について」(第 21 期東京都立図書館協議会提言２)
4 都立中央・多摩図書館開館時間を延長
6 都立中央図書館「医療情報サービス」を開始
17. 8「都立図書館改革の基本的方向」(第二次都立図書館あり方検討委員会報告)
18. 3「調査研究図書館におけるサービスのあり方について」(第 22 期東京都立図書館協議会答申)
7 都立中央図書館重点的情報サービス「法律情報サービス」を開始
8 東京都教育委員会「都立図書館改革の具体的方策」を公表
19. 3 東京関係資料の横断検索システム「東京資料サーチ」がスタート

平成 19. 7 都立中央図書館　新聞記事横断検索データベース（Ｇ－Ｓearch サービス）の有償提供の試行開始
9 都立図書館メールマガジン「都立図書館通信」の配信開始
20. 4 ワンストップサービスに向けて、都立中央図書館情報サービス課の 8 係を 6 係に組織改正
10 東京都教育委員会と千代田区教育委員会、都立日比谷図書館の千代田区移管に向けた基本的な方向性について合意
11 都立図書館創立 100 周年＜明治 41 年（1908）年 11 月 16 日、東京市立日比谷図書館として開館＞
「都立図書館のサービスと図書館改革の評価について」（第 23 期東京都立図書館協議会提言）
都立多摩図書館　都市･東京資料の集中化の方針に基づき、多摩地域資料を都立中央図書館に移管
12「東京都立図書館条例」「東京都立図書館館則」「東京都立図書館処務規則」の一部改正
21. 1 都立中央図書館リニューアルオープン　記念企画展及び講演会等を実施
都立中央図書館「都市・東京情報サービス」を開始
3 都立日比谷図書館は、千代田区へ移管することに伴い、3 月 31 日まで開館し、4 月 1 日から移管準備作業のため休館（7 月 1 日移管）
4 都立中央図書館では、複写受付時間を早め、午前 10 時から開始
5 都立多摩図書館リニューアルオープン、「東京マガジンバンク」開設　記念展示及び講演会等を実施
7 都立日比谷図書館を千代田区へ移管
9 都立多摩図書館　外部倉庫に保管中の資料等の取り寄せサービスを開始
22. 1「著作権法の一部を改正する法律」（平成 22 年 1 月 1 日）施行に伴い、視覚障害者以外にも、デイジー図書や点字図書の貸出を開始
都立中央図書館は、文部科学省の呼びかけにより、有志図書館が結成した「図書館海援隊」プロジェクトに参加
3「都立図書館視覚障害者等サービス要綱」の改正
都立図書館ホームページで、資料の閲覧予約（取り置き）サービスを開始
8 東京都立図書館資料保存ガイドラインの策定
23. 3 東日本大震災被災地支援のため、サービス対象地域を一時的に拡大（～平成 23 年 12 月）
「デジタル時代の都立図書館像」（第 24 期東京都立図書館協議会提言）
10 ウェブサイト「江戸・東京デジタルミュージアム」を開設
11 東京都立図書館 Twitter を開始
12 図書館情報システムリニューアル。統合検索システムの導入、登録利用者サービスの開始
東京都立図書館 Facebook を開始
24. 7 都立中央図書館建物内全面禁煙化
10 電子新聞（2 タイトル）の閲覧を開始
25. 1 都の施設で初めて新電力の部分導入を実施
3 東京都立図書館資料防災マニュアルの作成
「都民の課題解決に役立つ図書館を目指してーより質の高い図書館サービスの追求ー」（第 25 期東京都立図書館協議会提言）
5 ウェブサイト「東京都立図書館デジタルアーカイブ（TOKYO アーカイブ）」を開設
12 都立中央図書館でタブレット端末による電子書籍サービスの試行開始
26. 1「国立国会図書館デジタル化資料送信サービス」の館内利用開始
2 ウェブサイト「東京都立図書館デジタルアーカイブ（TOKYO アーカイブ）」機能追加
27. 3「読書活動の推進に向けた都立図書館の役割について」（第 26 期東京都立図書館協議会提言）
4 都立中央図書館で大使館等提供広報資料の展示・配布を開始
「都立多摩図書館の移転について」（施設概要、サービス展開予定等）を教育委員会に報告
「今後 3 か年の重点目標」を設定
7 都立中央図書館 1 階にカフェコーナーをオープン
28. 2「都立図書館改善の方策」を策定

3　図書館関係団体･組織一覧

（平成28年4月1日現在）



(1) 東京都公立図書館長連絡会(館長連絡会)

都内公立図書館相互の連絡を密にし、都内における図書館事業の発展のため、必要な連絡、調整及び情報交換を行うことを目的に、東京都公立図書館長連絡会設置要綱（17中図管企第74号）により、平成17年６月に設置された。当館管理部長及び各区市町村の中心館をもって組織され、会長には、当館管理部長、副会長には、特別区図書館長会幹事長及び東京都市町村図書館長協議会会長が充てられている。

(2) 全国公共図書館協議会(全公図)

全国の公共図書館相互の連絡を密にし、図書館に関する調査研究を行い、図書館の発展を図ることを目的に、昭和45年６月25日に設置された。会長、副会長は、理事の互選として総会において承認されるが、慣例として、会長等には、上記のとおり当館職員が就任している。

(3) 東京都図書館協会(TLA)

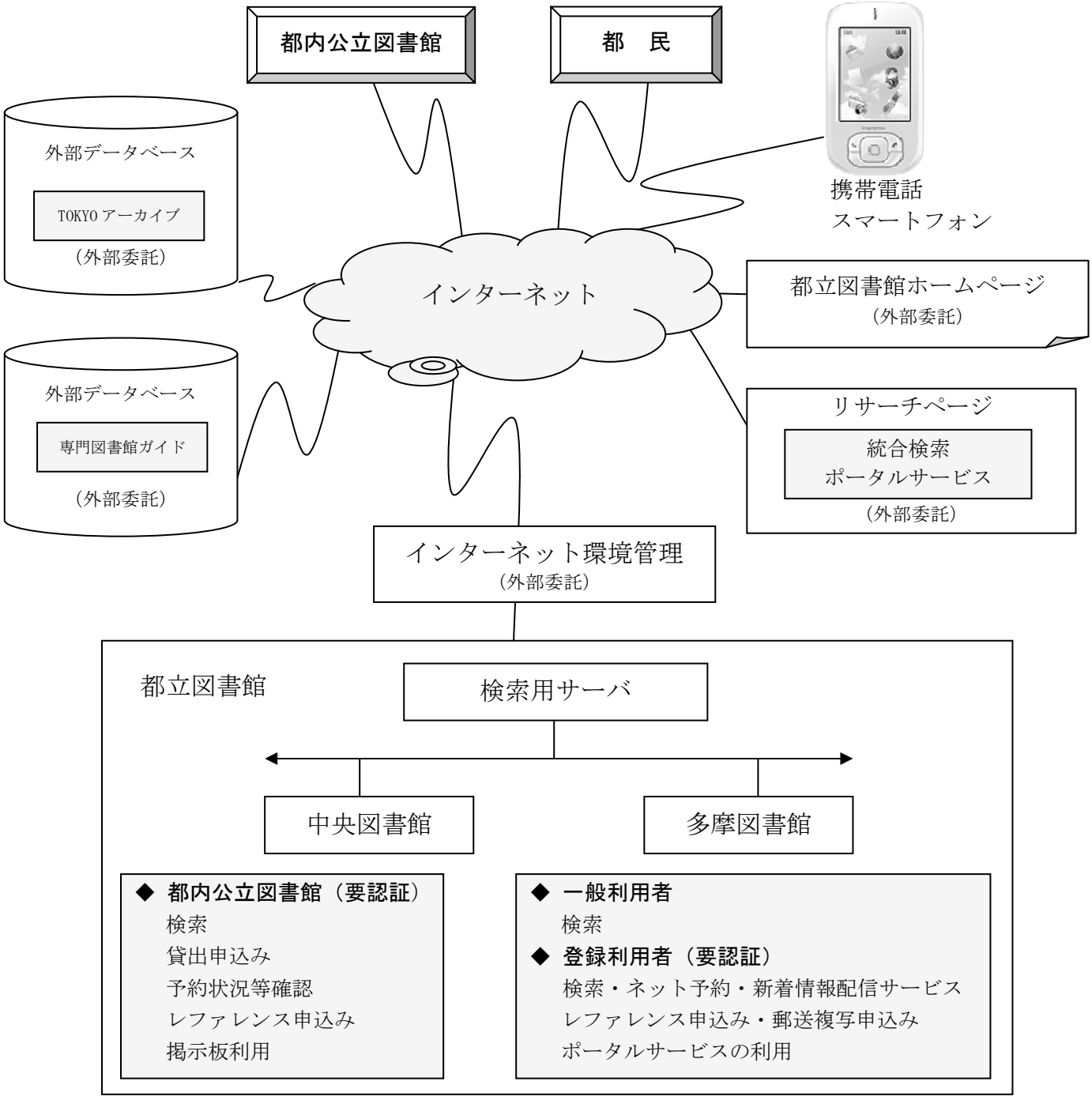
都内の図書館及び類縁機関並びに、これらに関係する者の連絡を図り、図書館事業の発展向上と会員相互の交流を深めることを目的に、昭和51年５月に設置された。会長等役員は、総会において選出されるが、慣例として、会長等には、上記のとおり当館職員が就任している。

(4) 関東地区公共図書館協議会(関ブロ)

関東地区内の公共図書館の連絡を密にし、図書館事業を推進することを目的に、昭和29年４月に規約が制定された。当館は、役員（都選出幹事）として参画している。

４　東京都立図書館ネットワーク概念図

第１期（METLICSⅠ）：　昭和 63 年 3 月～
第２期（METLICSⅡ）：　平成 12 年 2 月～　平成 17 年 6 月に機器更新
第３期（METLICSⅢ）：　平成 23 年 12 月～



Web 方式のシステム
・ サーバ　　：　14 台
・ クライアント：　185 台　　業 務 用：　114 台　（中央 91 台、多摩 23 台）
　　利用者用：　71 台　（中央 56 台、多摩 15 台）

５　東京都立図書館シンボルマーク

都立図書館の広報戦略の一環として、平成 22 年度に、都立図書館シンボルマーク作成のために、都立高等学校生徒を対象としてデザインの募集を行った。70 名の生徒から 250 点の提案を受け、選考によりシンボルマークを決定した。

以下の 4 種類を広報活動等に活用している。

共通 シンボルマーク		中央図書館・多摩図書館の両館にまたがる事業で使用
中央図書館 シンボルマーク		中央図書館が実施する事業で使用
多摩図書館 シンボルマーク１		多摩図書館が実施する事業で使用 （ただし、児童青少年資料サービス及び子供読書推進活動に関する事業を除く。）
多摩図書館 シンボルマーク２		多摩図書館の児童青少年資料サービス及び子供読書推進活動に関する事業で使用

６　ホームページ及びソーシャルメディア

東京都立図書館ホームページ

http://www.library.metro.tokyo.jp/

携帯電話からのアクセス

- ホームページの携帯用サイト
  http://www.library.metro.tokyo.jp/Portals/0/i/
- 携帯電話からの蔵書検索
  https://catalog.library.metro.tokyo.jp/winj/mobileopac/top.do

東京都立図書館 Twitter　https://twitter.com/tm_library

東京都立図書館 Facebook　http://www.facebook.com/tmlibrary

メールマガジン「都立図書館通信」　ホームページからご登録下さい。

7　フロア概要

(1) 中央図書館

中央図書館は、有栖川宮記念公園の高台にあります。５階建ての図書館は、銀杏、メタセコイヤ、欅、桜などたくさんの樹木に囲まれ、四季折々に落ち着いた佇まいを見せています。

▲中央図書館

１階

○　利用者玄関ホール

受付カウンターで受け取る「入館証」は、書庫内資料やインターネットパソコン等の利用に用います。

○　中央ホール

＊総合案内・相談カウンター

司書職員が資料に係る相談に応じます。

＊資料お渡し・返却カウンター

書庫内資料の出納を行います。

＊複写受付カウンター

○　重点的情報コーナー

＊ビジネス情報コーナー

ビジネスに役立つ企業情報･業界情報等を中心に、資格取得や就職活動に役立つ資料も備えています。

＊法律情報コーナー

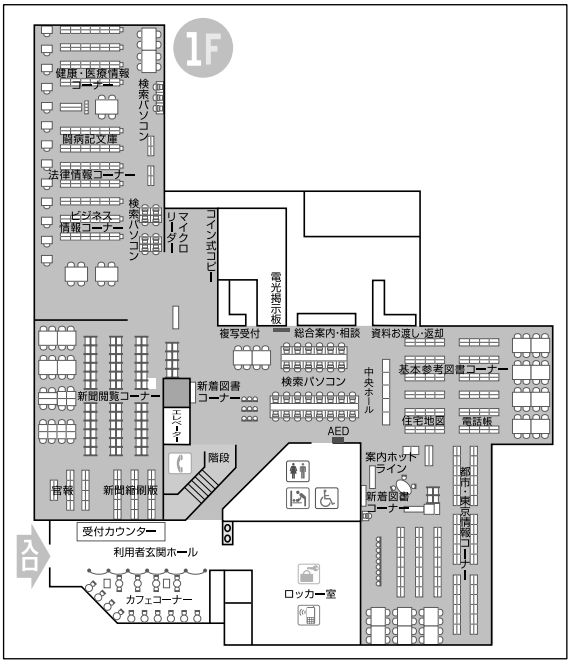
法律関係の基本図書や、相続・遺言、交通事故等の身近な法律テーマに対応した資料を備えています。

＊健康・医療情報コーナー

病気や薬、病院情報など、健康・医療について調べたいときに役立つ資料を備えています。

＊闘病記文庫

闘病体験記録約 1,800 冊を備えています。



○　新聞閲覧コーナー

全国紙、スポーツ紙、業界紙、各県の地方新聞など、最新の３か月分程度が自由に閲覧できます。新聞縮刷版や官報の一部、和洋の一般週刊誌 13 誌も備えています。

過去の新聞（約 500 紙）や、一般週刊誌以外の雑誌（約 4,000 誌）、マイクロ資料は、すべて書庫にあります（雑誌は一部、重点的情報コーナーに備えているものがあります。）。

▲都市・東京情報コーナー

○　都市・東京情報コーナー

東京都の行政資料（都・区市町村発行）及び東京に関する資料を集め提供しています。また、「都市計画」「都市産業」など都市に関する資料を９つのテーマで配置するとともに、国内の政令指定都市や海外の主要都市に関する資料も集め、広く「都市」に関する情報を提供しています。開架図書は約 32,000 冊です。

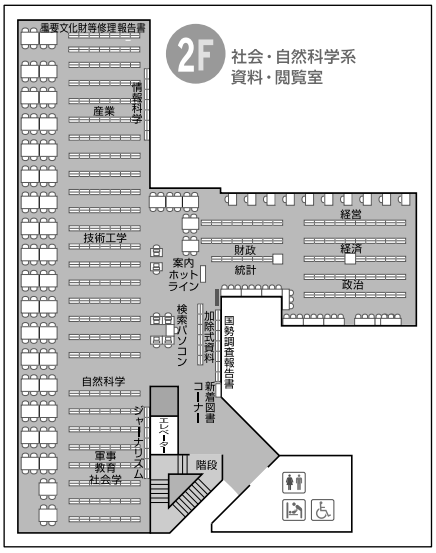
○　基本参考図書コーナー

日本及び世界各国の百科事典、語学辞典類（一部）、書誌目録類のほか、各主題に関する基本参考図書があります。また、全国の電話帳、東京都及び近接県の最新の住宅地図を備えています。

○　カフェコーナー

緑に囲まれながら、休息のひと時を楽しんでいただけます。

２階



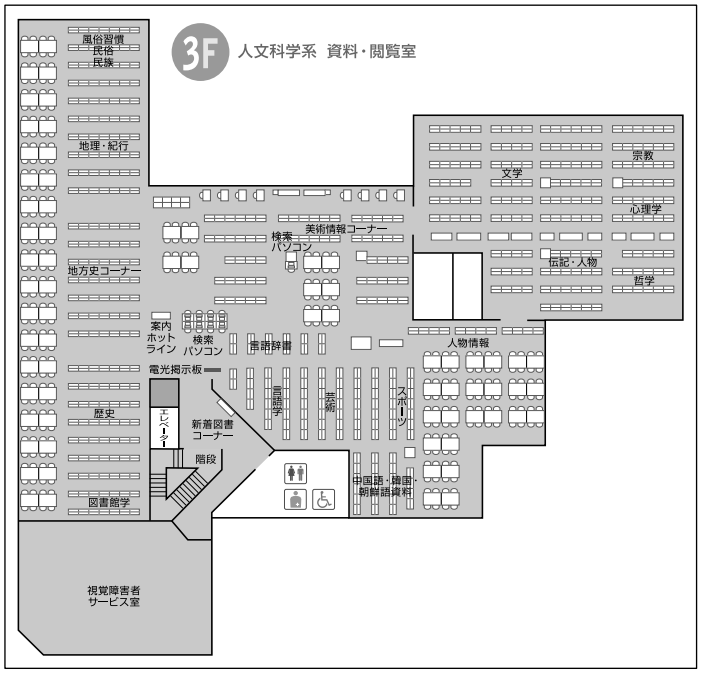
○　社会･自然科学系　資料･閲覧室

情報科学、政治、経済、財政、統計、社会学、教育、自然科学、工学、農林水産業、商業、交通、通信等の図書約 11 万冊を開架しています。また、JIS（日本工業規格）、JAS（日本農林規格）、ISO（国際規格）、重要文化財等の修理工事報告書約 1,500 冊を備えています。

３階

○　人文科学系　資料･閲覧室

図書館学、哲学、歴史、地理、風俗習慣・民俗・民族、芸術、スポーツ、語学、文学等の図書約 16 万冊を開架しています。全国でも有数の地方史コーナーは、県史・市町村史約３万冊を自由に閲覧できます。美術資料を集めた美術情報コーナーでは、約１万冊の大型美術書をゆったり楽しむことができます。そのほか、人名事典・名簿・肖像などの人物に関する情報や、様々な分野の参考図書と新刊図書を中心とする約１万冊の中国語資料や韓国・朝鮮語資料があります。



○　視覚障害者サービス室

視覚障害者等に対して、対面音訳、録音図書の製作・貸出、点字図書の製作・貸出を行っています。

対面音訳室は４室あり、録音図書（デイジー図書を含む。）5,881 点、点字図書 629 点、点字雑誌８種等の資料が利用できます。また、利用者自身が音の出るパソコンを使って調べものをすることもできます。

４階

○　閲覧室

ほぼ全席がパソコン席で、公衆無線ＬＡＮが利用できます。

○　企画展示室

東京や都立図書館の魅力を発信するテーマを設けて、大型の企画展示をタイムリーに開催しています。

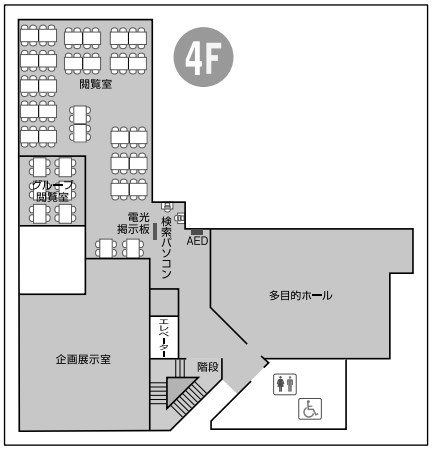
○　グループ閲覧室

図書館の資料を活用しながら、グループでの学習・調査研究活動に利用できます。

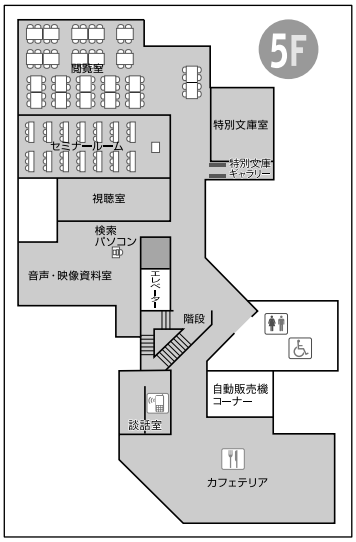
○　多目的ホール

図書館関係の各種研究大会、会議、講演会等に使用されます。

▲企画展示室



５階



○　閲覧室

静かな環境で調べものや読書をするための閲覧室で、パソコンの持ち込みはできません。

○　音声・映像資料室

図書や雑誌だけでは調査が不十分なものや、十分な理解が得られないものなどを補うために、レコード、コンパクトディスク、録音テープ、レーザーディスク、ビデオテープ、DVD 等、約 17,580 点を所蔵し、ご利用いただけます。

○　セミナールーム

図書館利用に関するガイダンスやパソコンを使った説明会・研修等に使用しています。ノートパソコンや電動式スクリーンを備えています。

○　特別文庫室

東京誌料、加賀文庫、市村文庫、諸橋文庫等の資料約 243,000 点（冊）をすべて書庫に保管し、資料請求票に基づき利用に供しています（p.28～29 参照）。

また、資料のデジタル化事業を進め、保存と有効活用を図るとともに、ホームページの「東京都立図書館デジタルアーカイブ（TOKYO アーカイブ）」で一部を公開しています。

○　談話室

携帯電話の利用、自動販売機で購入した飲み物を飲むことができます。

○　カフェテリア

東京タワーや六本木のビル群が一望でき、夜景も楽しめます。食事をしながらくつろいでいただけます。

＝各階＝

◆　蔵書検索パソコン・オンラインデータベース用パソコン

各階に蔵書検索パソコン、１階にはオンラインデータベース用、インターネット用パソコンを設置しており、図書と併せて利用することができます。

◆　新着図書コーナー

１階から３階の入口付近に、新着図書を展示しています。

◆　パソコン席

１階から４階に、290 席あります。

◆　案内ホットライン

１階から３階に案内ホットライン専用電話が設置してあり、司書職員を呼んで相談することができます。

◆　バリアフリー対応等

・１階受付で、車椅子の貸出をしています。
・１階新聞閲覧コーナー、２階資料・閲覧室、３階視覚障害者サービス室に、拡大読書器があります。
・１階と２階の多目的トイレには、おむつ替え用サークル、３階多目的トイレには、オストメイト対応設備があります。
・１階と４階にＡＥＤを設置しています。

〔建　物　概　要〕

昭和 48 年 1 月	新築、開館
平成 7 年 7 月～平成 8 年 5 月	施設・設備改修
平成 20 年 5 月～12 月	施設・設備改修
鉄筋鉄骨コンクリート	地上 5 階、地下 2 階
敷 地 面 積	9,157.21 ㎡
延べ床面積	延 23,196.21 ㎡
書庫収蔵能力	約 208 万冊（うち、開架 35 万冊）
閲　覧　席	902 席（スツール席含め、1,018 席）
建物内全面禁煙	

【各階の閲覧席数】

１階	中央ホール	32
	重点的情報コーナー	33
	新聞閲覧コーナー	32
	都市・東京情報コーナー	30
２階	資料・閲覧室	193
３階	資料・閲覧室	292
４階	閲覧室	144
	グループ閲覧室	24
５階	閲覧室	88
	音声・映像資料室	24
	特別文庫室	10

(2) 多摩図書館

多摩図書館は、現在「東京都多摩教育センター」１階にあり、17,000 誌の雑誌がご利用いただける「東京マガジンバンク」と「児童・青少年資料サービス」を中心とした情報サービスを提供しています。

平成 29 年 1 月 29 日、国分寺市泉町に移転して、開館予定です。
移転期間中（平成 28 年 8 月 1 日から 12 月 19 日）のサービスは、次のとおりです。

○ 開館時間　平日　午前 9 時 30 分から午後 7 時まで
　　土日祝　午前 9 時 30 分から午後 5 時まで
○ 休館日　原則、第 1 木曜日、第 3 日曜日
○ サービス　ア 雑誌（99 タイトル）閲覧
　　イ 新聞（6 タイトル）閲覧
　　ウ 児童青少年図書（約 1,500 冊）閲覧
　　エ 参考図書（約 200 冊）閲覧
　　オ オンラインデータベース（33 種）検索
　　カ 国立国会図書館デジタル化資料送信サービス（閲覧のみ）
　　キ 複写サービス
　　ク 対面音訳サービス

なお、平成 28 年 12 月 20 日から新館開館まで、休館します。

都立多摩図書館（移転後）の概要
（平成 29 年 1 月 29 日開館予定）

【案内図】

【建物概要】
鉄骨鉄筋コンクリート
地上３階
延べ面積　8,972 ㎡
書庫収容能力　約 285 万冊
（うち、開架 10 万 1 千冊）
閲覧席　227 席

【交通】
・ＪＲ中央線　ＪＲ武蔵野線
　西国分寺駅　徒歩８分

8　案　内　図

中央図書館

都立図書館の中心館として、豊富な資料で調査研究活動を支援するレファレンスサービスなど、さまざまな情報サービスを行っている。

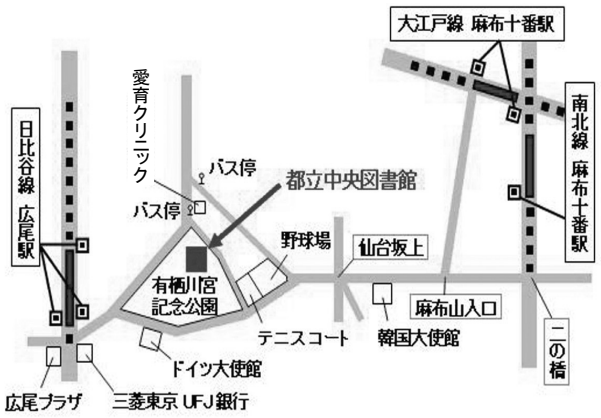
資料の個人貸出は行っていない。

○　開館時間

月～金曜日	午前10時～午後９時
土・日・祝・休日	午前10時～午後５時30分
ただし、	
・特別文庫室	午前10時～午後５時30分
・音声・映像資料室	午後１時～午後５時30分（土・日・祝・休日は、午前10時から開室）

○　休館日

・館内整理日	毎月第１木曜日（祝・休日又は他の休館日に当たる場合は第２木曜日）
・設備等の保守点検日	毎月１回（不定期）
・特別整理期間	年間 12 日以内
・年末年始	12月29日から１月３日まで



中央図書館

〒106-8575　港区南麻布 5-7-13（有栖川宮記念公園内）
電話 03-3442-8451(代)

【交　通】
- 東京メトロ日比谷線　広尾駅　徒歩８分
- 東京メトロ南北線　都営地下鉄大江戸線　麻布十番駅　徒歩 20 分
- 東京メトロ日比谷線　都営地下鉄大江戸線　六本木駅　徒歩 20 分
- 都バス橋 86 系統　目黒駅～新橋駅　愛育クリニック前　徒歩２分
- 港区コミュニティバス（ちぃばす）　麻布西ルート　97 愛育クリニック、98 有栖川宮記念公園　徒歩２分

多摩図書館

右の図は、平成 28 年 12 月 19 日まで
開館時間、サービス等は、前ページのとおり

平成 29 年１月 29 日、国分寺市泉町に移転、開館予定（案内図は、前ページ参照）。

多摩図書館

〒190-8543　立川市錦町 6-3-1
（東京都多摩教育センター内）
電話 042-524-7186（ダイヤルイン）

【交　通】
- JR 中央線　立川駅　徒歩 20 分
- JR 南武線　西国立駅　徒歩 10 分
- 多摩都市モノレール　柴崎体育館　徒歩 15 分

Library & TOKYO

事　業　概　要　平成２８年度版

登録番号（２８）第１号

主要刊行物指定

平成２８年７月２９日　発行
編集・発行　　東京都立中央図書館
〒106-8575　東京都港区南麻布五丁目７番１３号
電話　03-3442-8451(代)
印刷会社名　　山浦印刷株式会社

リサイクル適性Ⓐ
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

東京都立図書館